

株式会社メイテック

2021年3月期 第2四半期

決算説明資料

2020年10月29日

代表取締役社長 グループCEO
國分 秀世

人と技術で次代を拓く

MEITEC
Engineering Firm at The Core

- 1. 2021年3月期第2四半期 業績**
- 2. 2021年3月期 業績予想**
- 3. ご参考資料**

- では、2021年3月期第2四半期の業績、
- 2021年3月期の業績予想、を説明させていただきます。
- 「ご参考資料」は、のちほどご覧ください。

1. 2021年3月期 第2四半期 業績

人と技術で次代を拓く

MEITEC
Engineering Firm at The Core

- まず、2021年3月期第2四半期の業績を説明します。

2021年3月期業績 第2四半期 グループ連結

- ✓ 前期比で売上高は5.0%減収⇒感染症拡大で景況悪化による稼働率、稼働時間低下の影響
- ✓ 営業利益は18.7%減益⇒売上高減収を稼働時間低下を主因とする労務費減少及び販管費減少で補えなかったため

(百万円未満切捨て)	2020年3月期 2Q実績	2021年3月期 2Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2020年5月公表 2Q期初予想	予想比 増減額
売上高	49,577	47,091	▲2,486	▲5.0%	49,600	▲2,509
売上原価	36,461	35,307	▲1,153	▲3.2%	37,100	▲1,793
原価率	73.5%	75.0%	+1.5%			
販売管理費	7,113	6,905	▲208	▲2.9%	7,900	▲995
営業利益	6,003	4,878	▲1,124	▲18.7%	4,600	+278
営業利益率	12.1%	10.4%	▲1.7%		9.3%	+1.1%
経常利益	6,020	4,907	▲1,112	▲18.5%	4,600	+307
特別損益	△2	△4	▲2			
税金等調整前四半期純利益	6,018	4,903	▲1,115	▲18.5%		
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,970	3,138	▲831	▲21.0%	3,000	+138
四半期純利益率	8.0%	6.7%	▲1.3%			

- グループ連結の業績です。
- 2021年3月期第2四半期においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、景況は急速に悪化しました。
- 主要なお客様である大手製造業各社においても技術開発投資は一部で弱含みとなり、当社の受注環境は想定以上に厳しい状況となりました。
- 売上高は、前年同期比5.0%減収の470億91百万円、営業利益は、18.7%減益の48億78百万円、
- 四半期純利益は、21.0%減益の31億38百万円となりました。なお、稼働率、稼働時間が想定を下回ったため、売上高は予想を下回りました。

2021年3月期業績 第2四半期 グループ・セグメント

✓ エンジニアリングソリューション事業、エンジニア紹介事業共に前期比で減収減益

(百万円未満切捨て)	2020年3月期 2Q実績	2021年3月期 2Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
エンジニアリングソリューション事業 売上高	48,758	46,492	▲2,266	▲4.6%
構成比	98.3%	98.7%	+0.4%	
営業利益	5,765	4,703	▲1,062	▲18.4%
エンジニア紹介事業 売上高	867	665	▲201	▲23.3%
構成比	1.7%	1.4%	▲0.3%	
営業利益	237	174	▲62	▲26.3%

8

- グループ・セグメントの業績です。
- エンジニアリングソリューション事業、エンジニア紹介事業共に、前年同期比で減収減益となりました。

2021年3月期業績 第2四半期 メイテック

- ✓ 前期比で、売上高は5.8%減収、営業利益は16.9%減益、エンジニア社員数は3.3%増加
- ✓ 稼働率は前期比で5.6%低下⇒新入社員の配属が例年より大きく遅延し、さらに厳しい受注環境も加わったため

(百万円未満切捨て)	2020年3月期 2Q実績	2021年3月期 2Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2020年5月公表 2Q期初予想	予想比 増減額
売上高	36,976	34,846	▲2,130	▲5.8%	36,500	▲1,654
売上原価	27,307	26,213	▲1,094	▲4.0%	27,600	▲1,387
原価率	73.8%	75.2%	+1.4%		75.6%	▲0.4%
販売管理費	4,907	4,676	▲230	▲4.7%	5,200	▲524
営業利益	4,762	3,956	▲805	▲16.9%	3,700	+256
営業利益率	12.9%	11.4%	▲1.5%		10.1%	+1.2%
経常利益	5,661	4,899	▲761	▲13.5%	4,600	+299
特別損益	△2	△4	▲2			
税引前四半期純利益	5,658	4,894	▲763	▲13.5%		
四半期純利益	3,997	3,429	▲567	▲14.2%	3,200	+229
稼働率(全体)	95.1%	89.5%	▲5.6%		91.1%	▲1.6%
稼働時間<h/day>	8.52	8.17	▲0.35	▲4.1%	8.52	▲0.35
エンジニア社員数<名>	7,214	7,454	+240	+3.3%		

9

- メイテック単体の業績です。
- 感染症拡大による急速な景況悪化による稼働時間の低下、稼働人員数の減少などにより、売上高は、前年同期比5.8%減収の348億46百万円、営業利益は、16.9%減益の39億56百万円、四半期純利益は、14.2%減益の34億29百万円となりました。
- 稼働率は、上期は新型コロナウイルス感染症の拡大防止を最優先とした研修を行ったことで、新入社員の配属が例年より大きく遅延したこと、また厳しい受注環境も加わったことで、既存のエンジニア社員の配属が遅延したため、前年同期比で▲5.6%低下の89.5%となりました。
- なお、稼働時間、稼働率は、前年同期比、期初予想比、共に下回りました。

2021年3月期業績 第2四半期 メイテックフィルダーズ

- ✓ 前期比で、売上高は1.6%減収、営業利益は28.6%減益、エンジニア社員数は12.1%増加
- ✓ 稼働率は前期比で8.2%低下⇒新入社員の配属が例年より大きく遅延し、さらに厳しい受注環境も加わったため

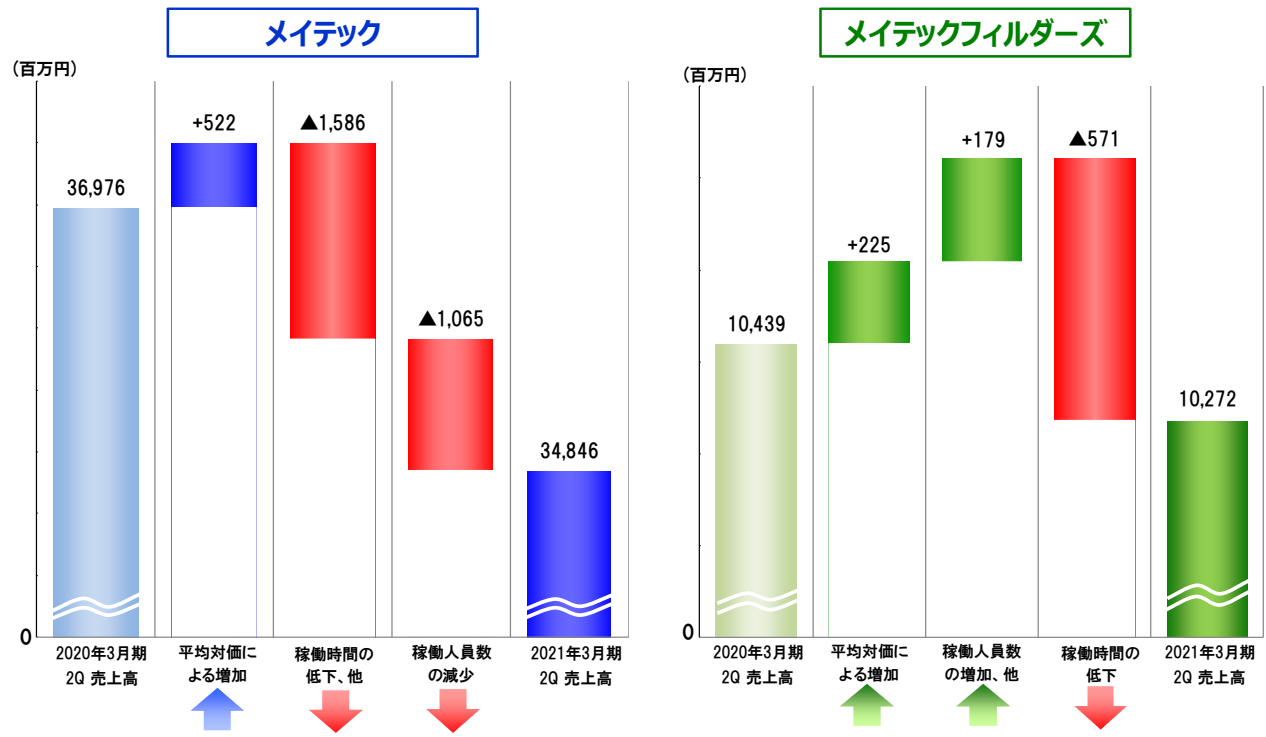
(百万円未満切捨て)	2020年3月期 2Q実績	2021年3月期 2Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2020年5月公表 2Q期初予想	予想比 増減額
売上高	10,439	10,272	▲166	▲1.6%	10,600	▲328
売上原価	8,095	8,007	▲88	▲1.1%	8,300	▲293
原価率	77.5%	77.9%	+0.4%		78.3%	▲0.4%
販売管理費	1,413	1,601	+187	+13.3%	1,700	▲99
営業利益	930	664	▲266	▲28.6%	600	+64
営業利益率	8.9%	6.5%	▲2.4%		5.7%	+0.8%
経常利益	930	663	▲267	▲28.8%	600	+63
特別損益	0	—	—			
税引前四半期純利益	930	663	▲267	▲28.7%		
四半期純利益	644	454	▲189	▲29.4%	400	+54
稼働率(全体)	94.0%	85.8%	▲8.2%		86.3%	▲0.5%
稼働時間<h/day>	8.59	8.16	▲0.43	▲5.0%	8.59	▲0.43
エンジニア社員数<名>	2,822	3,163	+341	+12.1%		

10

- メイテックフィルダーズの業績です
- 積極採用による、エンジニア社員数の12.1%の大幅増加による稼働人員数の増加があった一方、メイテック同様、感染症拡大で景況悪化による稼働時間の低下などがあったため、売上高は、前年同期比1.6%減収の102億72百万円、営業利益は、28.6%減益の6億64百万円、四半期純利益は、29.4%減益の4億54百万円となりました。
- 稼働率は、メイテック同様、エンジニア社員の配属が遅延したことから、前年同期比▲8.2%低下の85.8%となりました。
- なお、稼働時間、稼働率は、メイテック同様、前年同期比、期初予想比、共に下回りました。

売上高前年同期比較

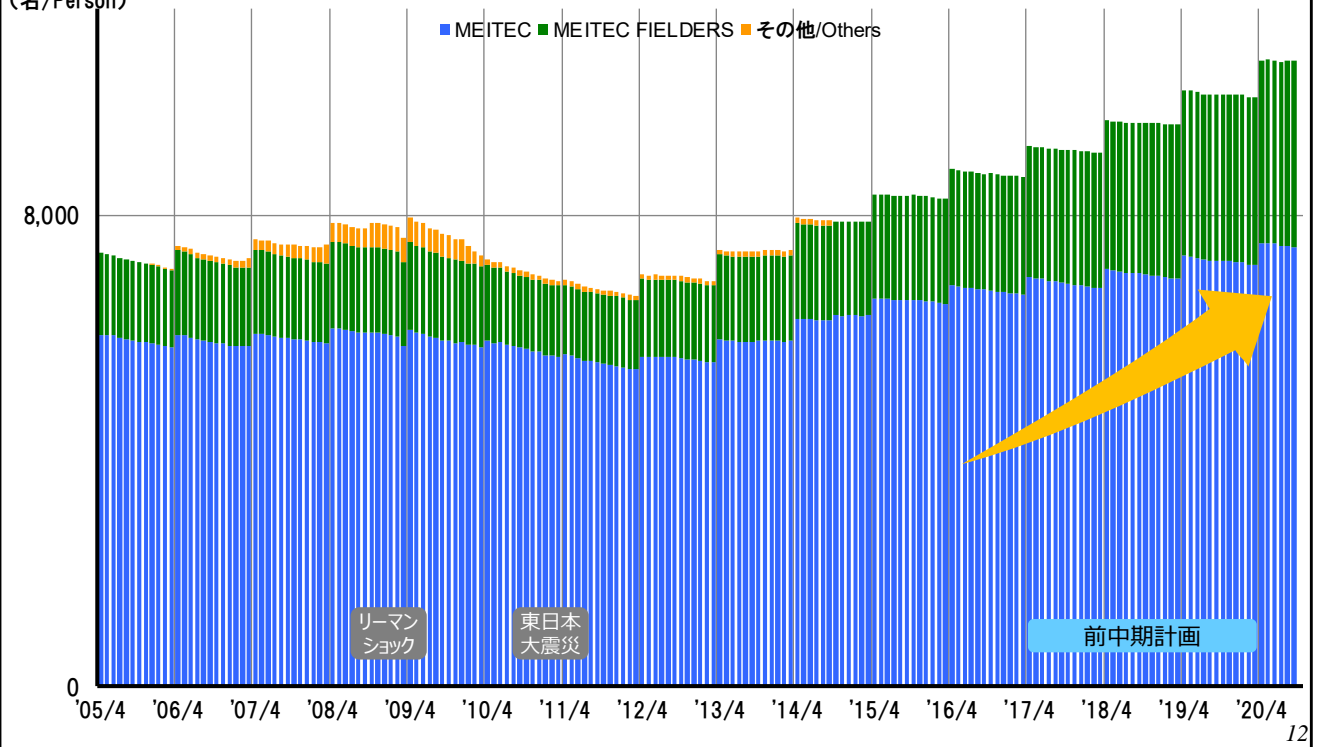
- ✓ メイテックは「稼働時間の低下」「稼働人員数の減少」により減収
- ✓ メイテックフィルダースは「稼働時間の低下」により減収



- メイテック、メイテックフィルダースの売上高の対前年同期比増減の内訳です。
- 減収の主な要因は、メイテックは「稼働時間の低下」「稼働人員数の減少」、メイテックフィルダースは「稼働時間の低下」です。
- その影響額は記載のとおりです。

エンジニア社員数 グループ連結

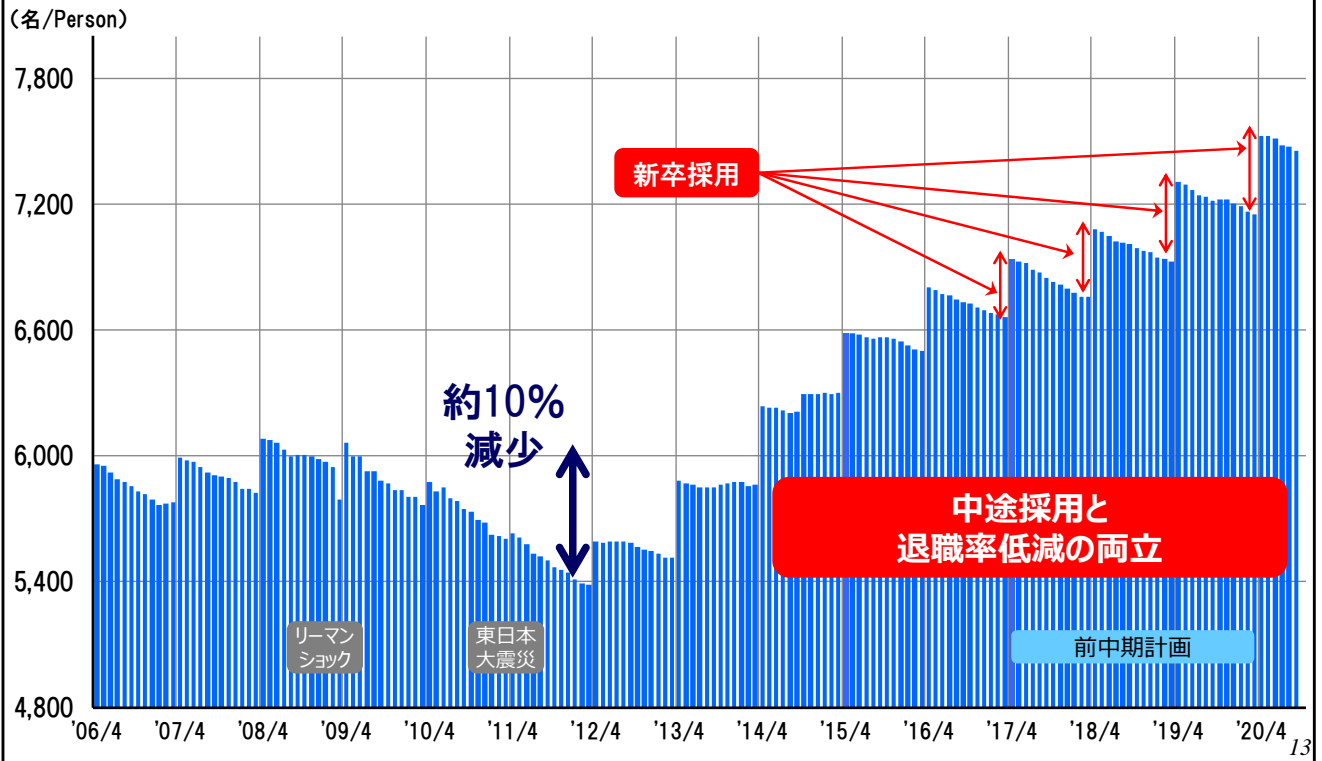
✓ 9月末のエンジニア社員数は10,617名（前年9月末比+581名、+5.8%）
(名/Person)



- グループのエンジニア社員数の推移です。
- 2020年9月末のエンジニア社員数は、10,000名を超え、前年9月末比+581名、+5.8%増の10,617名となりました。
- メイテック、メイテックフィルダーズ共に着実に増員できています。

エンジニア社員数 メイテック

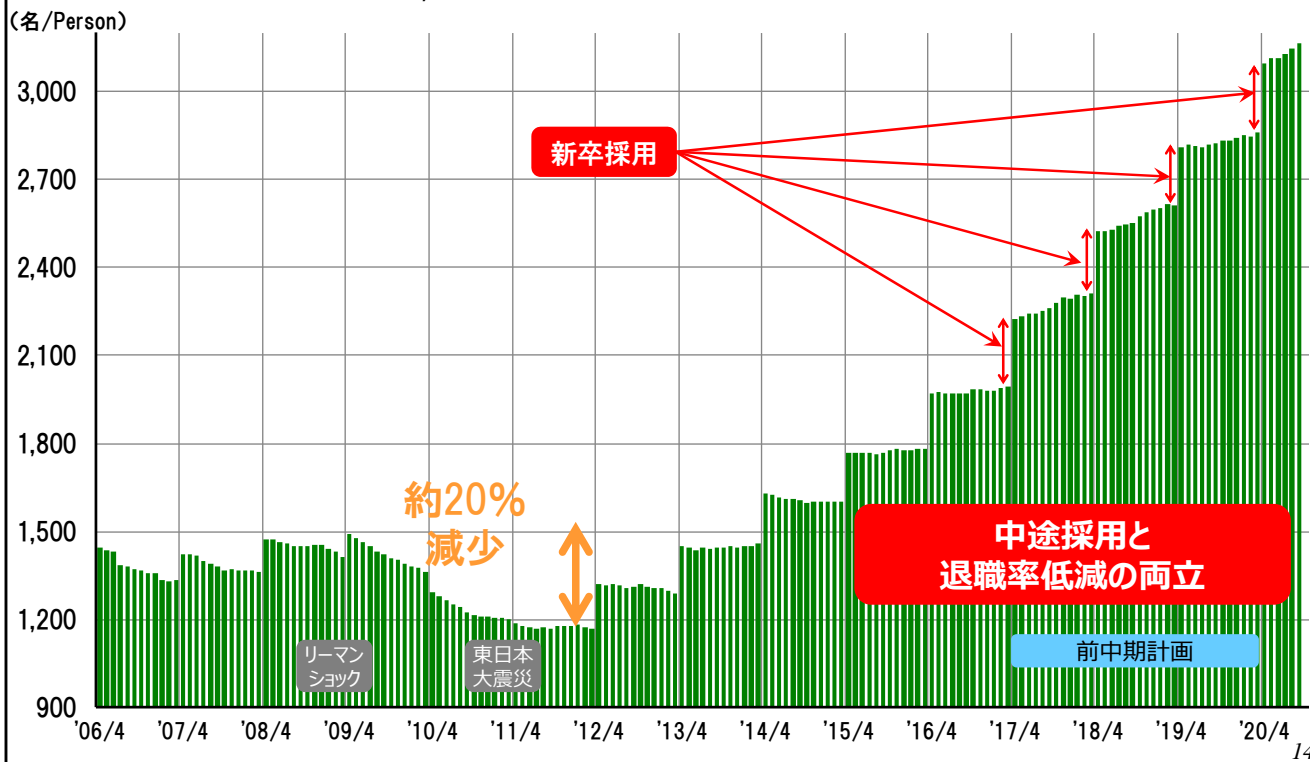
✓ 9月末エンジニア社員数は7,454名（前年9月末比+240名、+3.3%）



- 続いて、メイテック単体のエンジニア社員数の推移です。
- 2020年9月末のエンジニア社員数は、前年9月末比+240名、+3.3%増の7,454名となりました。

エンジニア社員数 メイテックフィルダース

✓ 9月末エンジニア社員数は3,163名（前年9月末比+341名、+12.1%）



- メイテックフィルダースのエンジニア社員数の推移です。
- 2020年9月末のエンジニア社員数は、前年9月末比+341名、+12.1%増の3,163名となりました。

2021年3月期の採用状況

中途採用（2021年3月期）

- 全般的な求人ニーズは弱含みに変化したものの、DX人材を始めとする即戦力の技術者求人ニーズに衰えは見られず、採用環境は厳しい状況が継続
- ✓ 引き続き、採用基準を保持した活動を継続
- ✓ 応募者へ生涯プロエンジニアを輩出し続ける事実を訴求し、集客を強化した結果、従来より高い水準の社内目標の達成に向けて、概ね計画通りに進行中

新卒採用（2021年4月入社）

- 企業の採用意欲はコロナ禍により弱含みに変化したものの、理系学生の採用ニーズは依然衰えていない
- ✓ 10月1日時点の内定者数は、期初予想を上回ることができた。
- ✓ これは、感染症拡大による学生の不安払拭を第一に考え、早い段階でオンライン面接へ切り替えられたことが主因

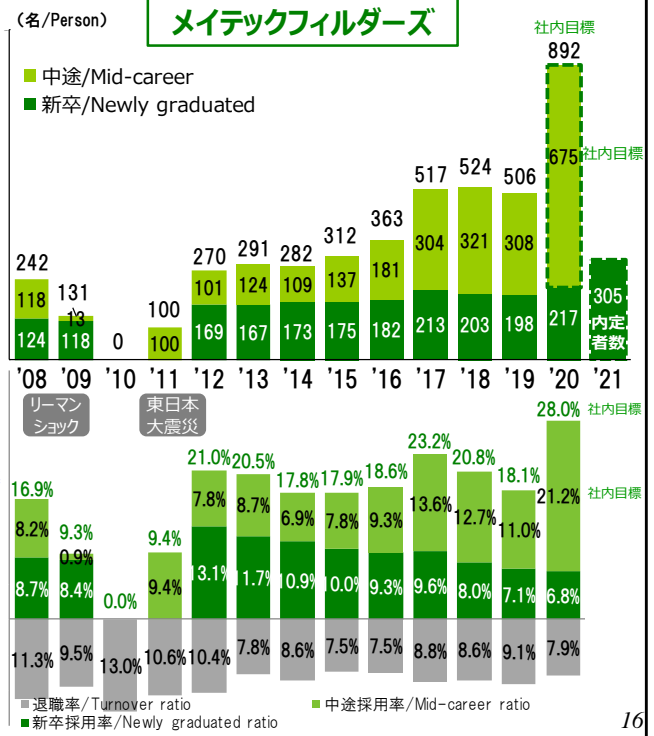
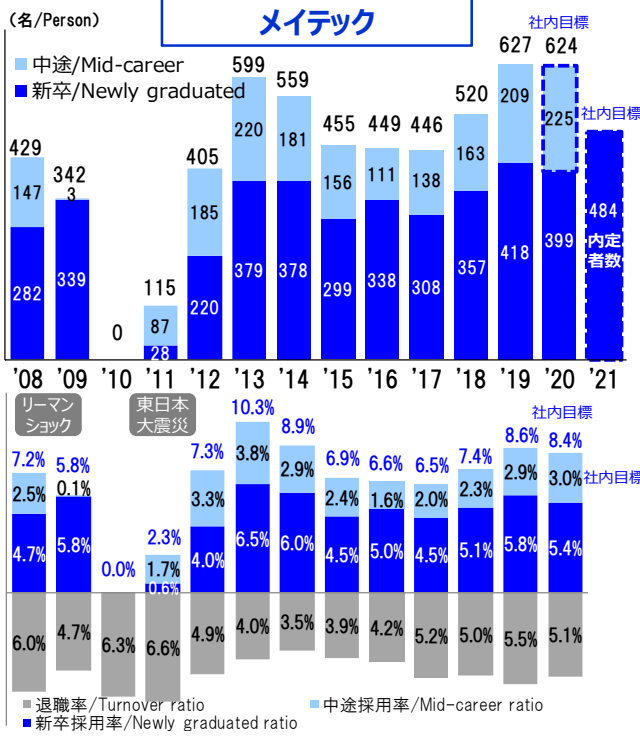
(名)	2021年3月期					2022年3月期	
	20年4月入社 新卒採用数 (実績)	中途採用数		採用数合計		21年4月入社 新卒採用数	
		〈社内目標〉	期初予想比	〈社内目標〉	期初予想比	〈10月1日内定者数〉	期初予想比
メイテック	399	225	+5	624	+5	484	+34
メイテック フィルダース	217	675	—	892	—	305	+5
合計	616	900	+5	1,516	+5	789	+39
20年3月期比	—	+383		+383			

15

- 続いて、採用の状況です。
- まず、中途採用は、新型コロナウイルス感染症の影響で全般的な求人ニーズは弱含みとなったものの、デジタル技術で業界全体を変革するDX(デジタルトランスフォーメーション)関連の人材をはじめとする即戦力のエンジニアの求人ニーズに衰えは見られず、採用環境は厳しい状況が継続していますが、当社グループとしては「質を重視」し、採用基準を保持しながら、採用活動に注力しています。
- 従来より高い水準の社内目標を掲げ、その達成に向けて、生涯プロフェッショナルという働き方を創出し続けるというビジネスモデルに対する理解を促進し、母集団形成に注力した結果、計画通りに進捗しています。今後の進行状況を踏まえて、メイテックは期初予想から+5名の上方修正としました。
- 次に、2021年4月入社の新卒採用の状況です。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、企業の採用意欲は弱含みとなっているものの、当社グループがターゲットとしている理工系学生の採用ニーズは衰えておらず、採用数の確保に苦戦を強いられましたが、採用基準を保持しつつ、早期段階でのオンラインによる情報配信や面接対応など、学生の不安払拭を第一に考えた活動を行ったことで、10月1日の内定者数は、グループ全体で、789名となりました。
- なお、この水準は、新聞報道によると、日本企業全体の、文系を含めた採用数では7位、理工系だけでは2位です。これは、メイテックグループであれば、安心してプロのエンジニアとして、生涯働き続けられるということが、労働市場において、一定のご理解、共感を得ている一つの成果と考えております。
- これからも、エンジニアという働き方を世の中に訴求しながらメイテックグループの採用ブランドを、更に強化していきたいと思っています。

採用と退職

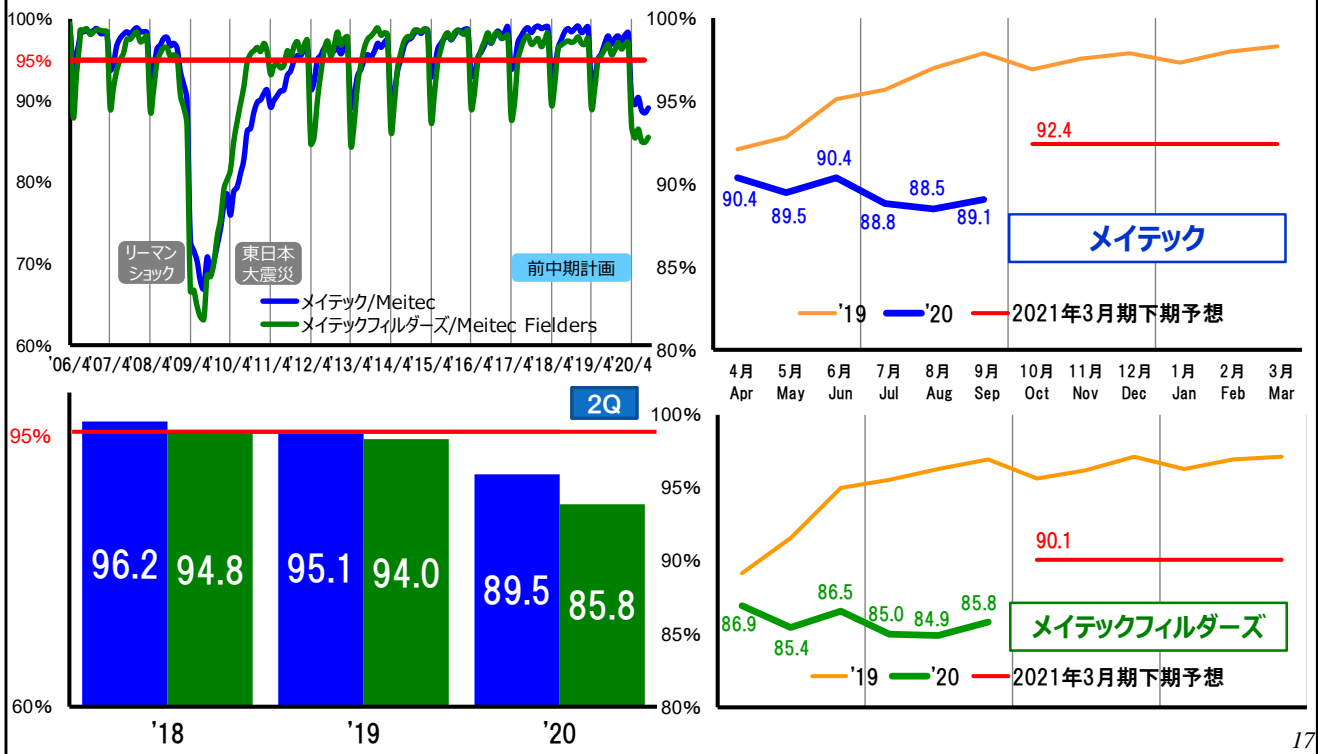
- ✓ 第2四半期決算公表時点の採用者数と退職率見込みは以下の通り
※採用率・退職率の実績は来年5月に公表予定



- 第2四半期決算公表時点の採用者数と退職率の見込みは記載の通りです。
- なお、上半期実績を踏まえ、メイテックフィルダーズの退職率を、期初予想の8.6%から7.9%に修正しました。

稼働率

✓ 稼働率低下⇒新入社員の配属が例年より大きく遅延し、さらに厳しい受注環境も加わったため



- 稼働率の推移です。
- メイテック、メイテックフィルダース共に、稼働率は前年よりも低い水準で推移しました。

4月1日にグループ全体で616名の新入社員が入社したことで稼働率は一旦低下し、その後、研修を終えた新入社員が客先業務に配属されることで稼働率は上昇します。

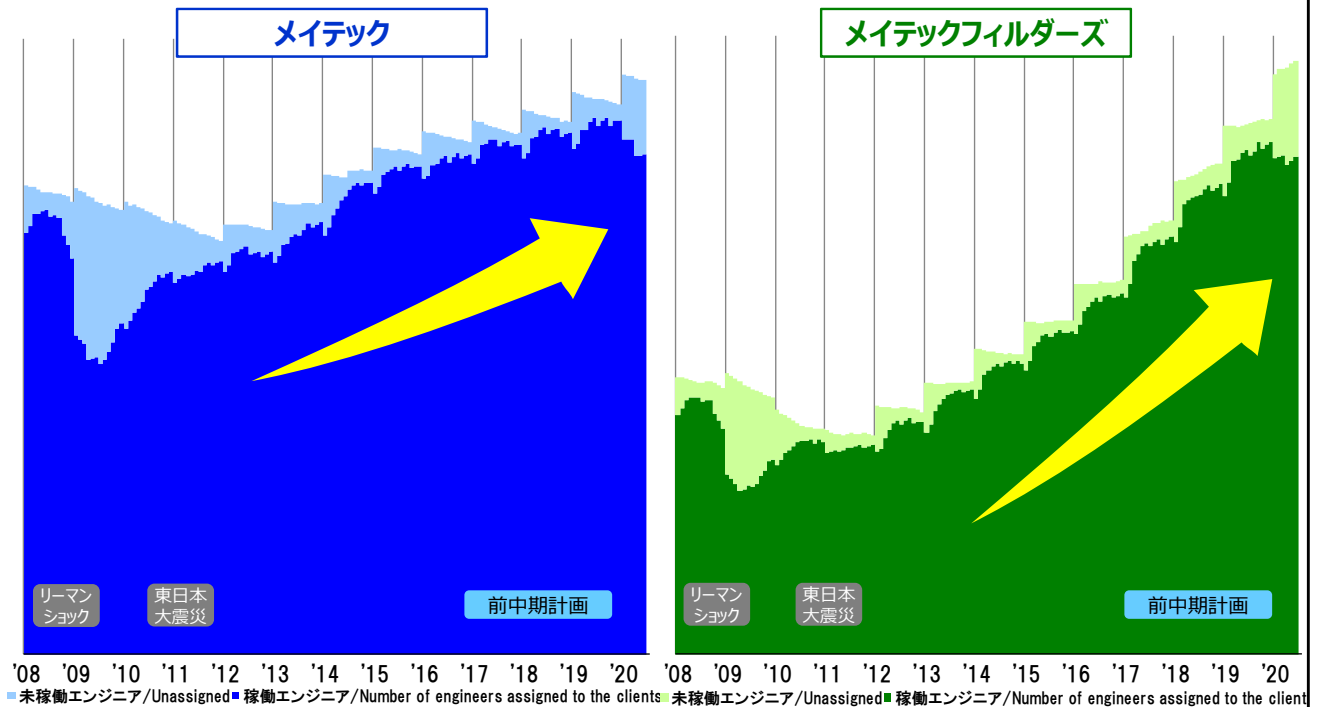
昨年の稼働率はオレンジのグラフですが、毎年の傾向として、こういった稼働率の推移をします。

今上期は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を最優先とした研修を余儀なくされました。

新入社員の配属が例年より大きく遅延したことに加え、厳しい受注環境により既存のエンジニア社員の配属が遅延したことが稼働率低下の大きな要因です。

稼働人員数(売上の主要素)

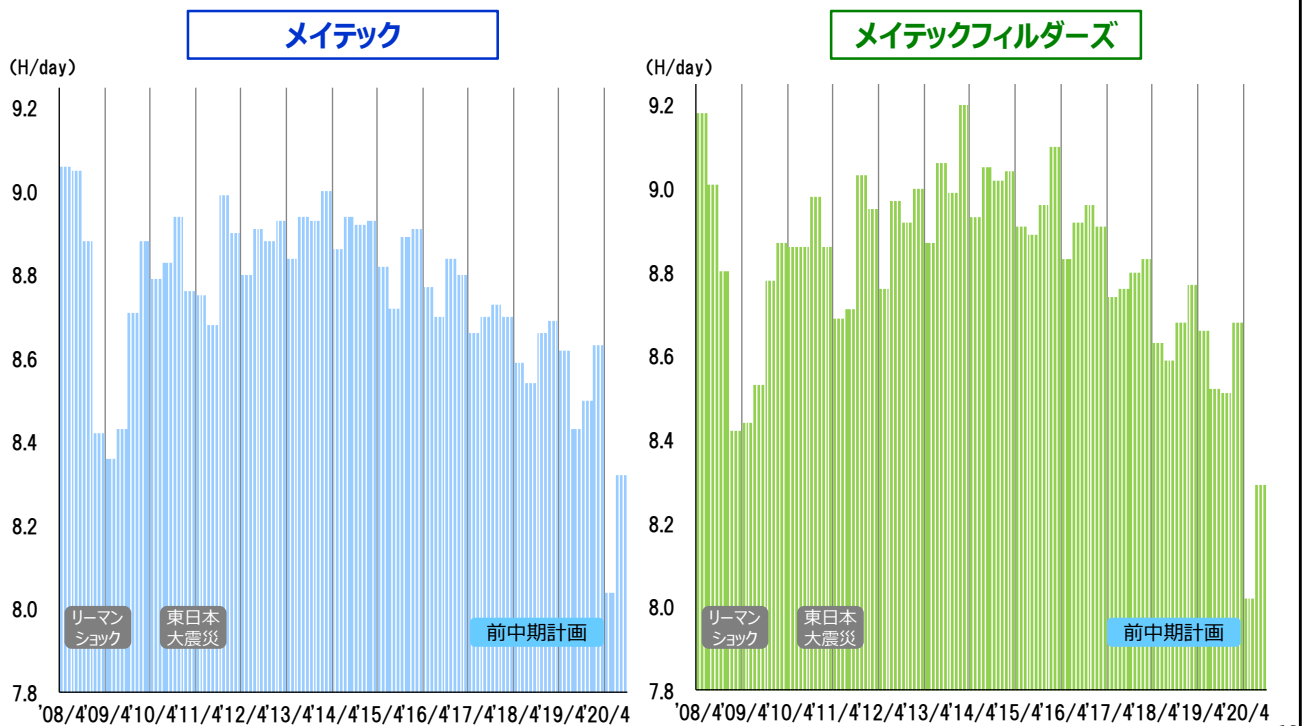
- ✓ 感染症拡大前からの積極採用で「エンジニア社員数の増員」、稼働率低下により稼働人員数は減少



18

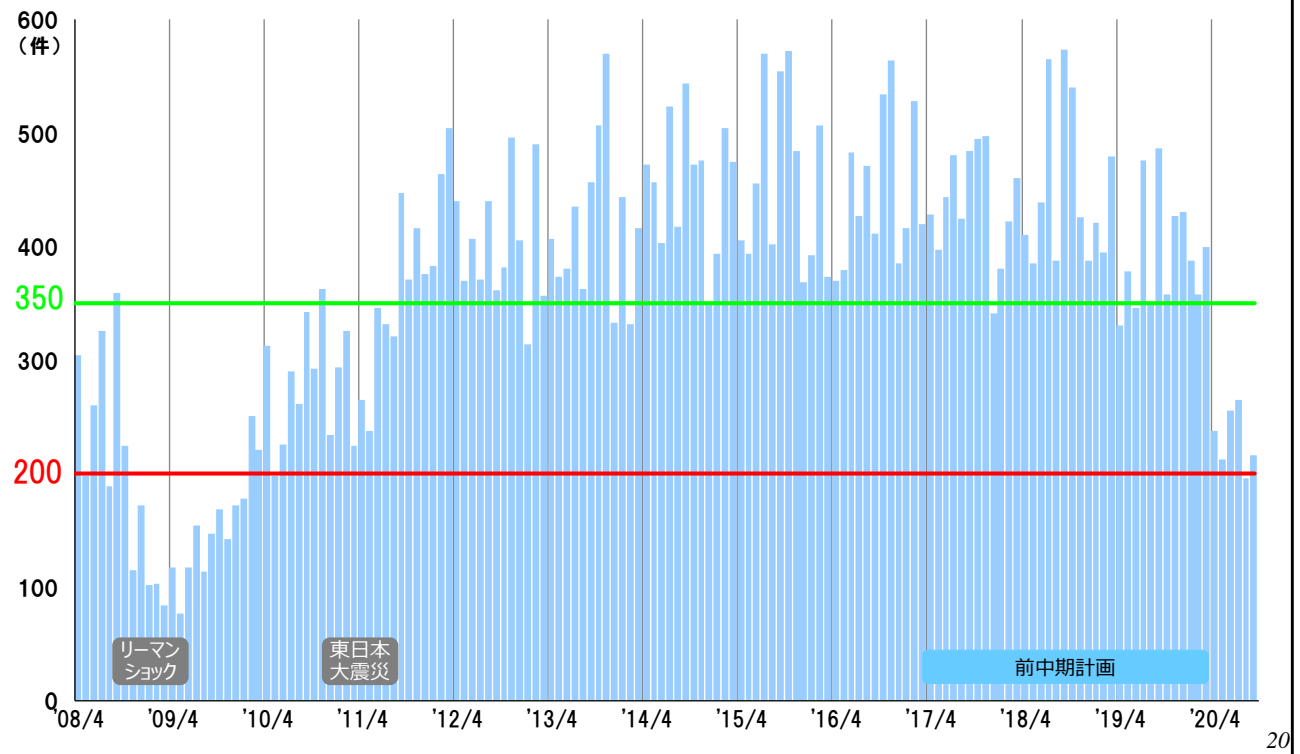
- 稼働人員数の推移です。
- 感染症拡大の影響に関係なく、「エンジニア社員数の増員」は継続していますが、
上期は、厳しい受注環境による稼働率の低下で稼働人員数は
メイテック、メイテックフィルダーズ共に
前年9月末比で減少しています。

✓ 稼働時間低下⇒春先の夜間外出自粛要請で顧客の残業時間削減が強まり、その後の回復も弱かった



- 稼働時間の推移です。
- 春先の夜間外出自粛要請でお客様の残業時間削減が強まり、その後の回復も弱かったことから、時間外労働は例年と比べて低下しました。稼働時間は、お客さま先の業務指示の結果なので、当社側でコントロールは不可能ではありますが、稼働時間0.1時間の変動で売上高は約1%変動することから、業績影響の大きい指標の一つであるため、今後も継続して注視していきます。

✓ 感染症拡大で景況悪化により、メイテック単体の月間新規受注は減少



- 月間新規受注動向の推移です。
- 上期は、感染症拡大などにより景況が悪化したため、2Q平均の月間新規受注数は約200件の水準です。受注残は約300～400件程度となっています。お客さまの訪問制限、1Qのプロジェクト等の一時停止、そういった中での技術開発投資の一部弱含みという中で、今般の新規受注は200件程度となっています。今後も感染症拡大の影響など、先行き不透明な状況ですが、引き続き攻めの営業を行いながらも新規の受注獲得、配属促進を実施してまいりたいと考えております。

お客様の売上TOP10 メイテック

✓ お客様（個別企業）に関する事項および具体的計数の公表は差し控えます

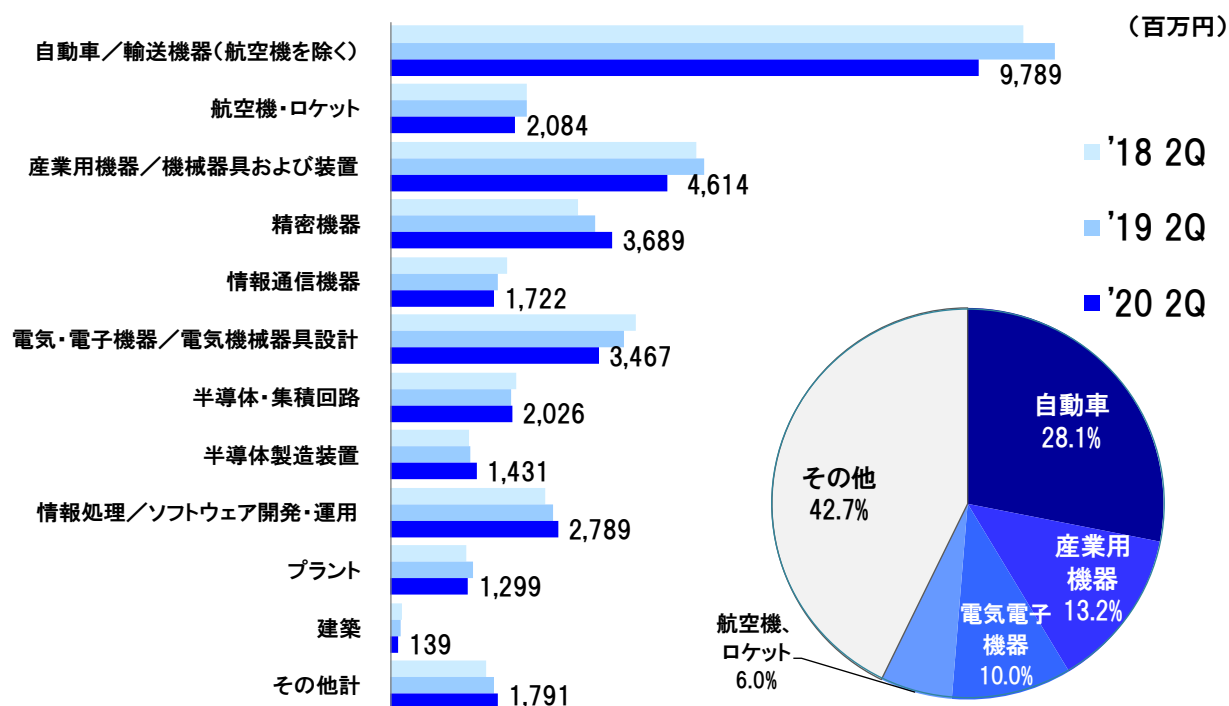
(百万円)

2016年3月期2Q (2015年度)			2020年3月期2Q (2019年度)			2021年3月期2Q (2020年度)		
1	キャノン 様		1	三菱重工業 様		1	三菱重工業 様	
2	三菱重工業 様		2	デンソー 様		2	デンソー 様	
3	デンソー 様		3	ソニーセミコンダクタソリューションズ 様		3	ソニーセミコンダクタソリューションズ 様	
4	パナソニック 様		4	パナソニック 様		4	パナソニック 様	
5	ニコン 様		5	トヨタ自動車 様		5	ニコン 様	
6	川崎重工業 様		6	ニコン 様		6	トヨタ自動車 様	
7	オムロン 様		7	キャノン 様		7	デンソーテン 様	
8	ソニー 様		8	デンソーテン 様		8	SUBARU 様	
9	三菱航空機 様		9	日本製鉄 様		9	日立ハイテク 様	
10	トヨタ自動車 様		10	オリンパス 様		10	日本製鉄 様	
トップ10社合計	8,517	25.7%	トップ10社合計	8,649	23.4%	トップ10社合計	8,321	23.9%
トップ20社合計	11,854	35.8%	トップ20社合計	12,740	34.5%	トップ20社合計	11,939	34.3%
その他	21,276	64.2%	その他	24,236	65.5%	その他	22,907	65.7%
合計	33,130	100.0%	合計	36,976	100.0%	合計	34,846	100.0%

21

- メイテックのお客様の売上TOP10です。
- TOP10圏内に入るお客様に一部変化が見られます。
- TOP10圏内のお客様だけでなく、5年前と昨年と今期で、同じお客様であったとしても業務内容は大きく変化しています。特に自動運転、安全支援システムに絡む技術要素、あるいは製品開発。そして5GやAI、ロボティクス、こういった分野における新たな製品、サービスの開発におきまして、お客様の動向を絶えず、我々がウォッチしながら、意図してシフトしていくということが強みでございます。
- お客様の中での新しいプロジェクト、あるいは新しい技術開発テーマに即した、成長セクター、分野、新しい技術領域へ意図的な当社サイドのローテーションを図っております。そうすることで、エンジニアの技術力を高めつつ、お客様に対して高付加価値なサービスの提供をできるように取り組んでおります。
- 特定のお客様に偏(かたよ)らず、幅広くサービスを展開することは、メイテックの強みです。これからもその強みを強化していきます。

✓ お客さま（個別企業）別の内訳や見通しの公表は差し控えます（計数はご参考資料に掲載）



22

- 業種別の売上高です。
- 引き続き「自動車関連」が高い比率を占めています。
- メイテックは、広い分野や業種のお客さまと取引させて頂くことにより、特定の分野や特定の企業様だけではなく、厳しい状況にあっても、意図的にエンジニアを他の業界や分野にシフトすることを可能としており、これが強みとなっています。これからもお客さまニーズ、市場動向などをしっかりと把握しながら対応していきます。
- 以上、2021年3月期第2四半期業績について、ご説明致しました。

2. 2021年3月期 業績予想

人と技術で次代を拓く

MEITEC
Engineering Firm at The Core

- 続いて、2021年3月期の業績予想について、現時点において入手可能な情報をもとに算定しましたので、その概要を説明します。

2021年3月期業績予想 グループ連結 前期比

- ✓ 売上高は前期比▲3.5%減収⇒前期より稼働率、稼働時間の低下を見込む
- ✓ 営業利益は同比▲23.4%減益⇒下期は採用関連費用等の販管費の増加を見込む
- ✓ 但し、営業利益率は上期並みの10%を維持する見込み

(百万円未満切捨て)	'21年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	97,500	▲3,495	▲3.5%	47,091	50,408	▲1,009	▲2.0%
売上原価	72,700	▲1,123	▲1.5%	35,307	37,392	+29	+0.1%
販売管理費	14,900	+654	+4.6%	6,905	7,994	+862	+12.1%
営業利益	9,900	▲3,026	▲23.4%	4,878	5,021	▲1,901	▲27.5%
営業利益率	10.2%	▲2.6%		10.4%	10.0%	▲3.5%	
経常利益	10,000	▲2,975	▲22.9%	4,907	5,092	▲1,862	▲26.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,600	▲2,493	▲27.4%	3,138	3,461	▲1,661	▲32.4%
1株当たり当期純利益(EPS)	239.13	▲47.51		113.73			

24

- 2021年3月期のグループ連結の業績予想と前期実績との比較です。
- 売上高は、前期より稼働率、稼働時間の低下を見込み、前期比▲3.5%、35億円の減収、
営業利益は、採用関連費用などの販管費の増加を見込み、前期比▲23.4%、30億円の減益予想としました。
- 但し、営業利益率は上期並みの10%程度を維持する見込みです。
- 当期純利益は、前期比▲27.4%、25億円の減益予想としました。

2021年3月期業績予想 メイテック 前期比

- ✓ 売上高は前期比4.9%減収⇒稼働率、稼働時間は上期より増加を見込むが前期より低下見込み
- ✓ 営業利益は同比22.0%減益⇒下期は研修関連費用や営業職増強等での販管費の増加を見込み

(百万円未満切捨て)	'21年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	71,600	▲3,697	▲4.9%	34,846	36,753	▲1,567	▲4.1%
売上原価	53,500	▲1,638	▲3.0%	26,213	27,286	▲544	▲2.0%
原価率	74.7%	+1.5%		75.2%	74.2%	+1.6%	
販売管理費	10,000	+223	+2.3%	4,676	5,323	+453	+9.3%
営業利益	8,100	▲2,282	▲22.0%	3,956	4,143	▲1,476	▲26.3%
営業利益率	11.3%	▲2.5%		11.4%	11.3%	▲3.4%	
経常利益	9,000	▲2,290	▲20.3%	4,899	4,100	▲1,528	▲27.2%
当期純利益	6,300	▲1,812	▲22.3%	3,429	2,870	▲1,245	▲30.3%
稼働率(全体)	91.0%	▲5.4%		89.5%	92.4%	▲5.3%	
稼働時間<h/day>	8.31	▲0.23		8.17	8.45	▲0.11	
採用数<名>	624	▲3		2021年4月入社の新卒採用見込み数		20年4月実績比	
新卒採用数	399	▲19					
中途採用数	社内目標 225	+16					
退職率	5.1%	▲0.3%		484	+85		

25

- メイテック単体の業績予想と前期実績との比較です。
- 売上高は、稼働率と稼働時間は上期より増加を見込んでいますが、前期より低下を見込み、前期比▲4.9%、37億円の減収
- 営業利益は、下期に研修関連費用や営業職増強などで販管費の増加を見込み、前期比▲22.0%、23億円の減益、
- 当期純利益は、前期比▲22.3%、18億円の減益予想としました。

2021年3月期業績予想 メイテックフィルダーズ 前期比

- ✓ 売上高は前期比1.9%増収⇒採用数大幅増加によるエンジニア社員数の増加を見込む
- ✓ 営業利益は同比31.6%減益⇒採用数大幅増加に伴う採用関連費用の増加を見込む

(百万円未満切捨て)	'21年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	21,800	+416	+1.9%	10,272	11,527	+583	+5.3%
売上原価	16,870	+393	+2.4%	8,007	8,862	+481	+5.7%
原価率	77.4%	+0.3%		77.9%	76.9%	+0.3%	
販売管理費	3,600	+637	+21.5%	1,601	1,998	+450	+29.1%
営業利益	1,330	▲614	▲31.6%	664	665	▲348	▲34.4%
営業利益率	6.1%	▲3.0%		6.5%	5.8%	▲3.5%	
経常利益	1,330	▲615	▲31.6%	663	666	▲348	▲34.3%
当期純利益	880	▲581	▲39.8%	454	425	▲391	▲48.0%
稼働率(全体)	88.1%	▲7.2%		85.8%	90.1%	▲6.4%	
稼働時間(h/day)	8.27	▲0.32		8.16	8.36	▲0.23	
採用数(名)	892	+386					
新卒採用数	217	+19					
中途採用数	社内目標 675	+367					
退職率	7.9%	▲1.1%					
				2021年4月入社 新卒採用見込み数		20年4月 実績比	
				305		+88	

26

- メイテックフィルダーズの業績予想と前期実績との比較です。
- 売上高は、採用数大幅増加によるエンジニア社員数の増加に伴う稼働人員の増加影響が、稼働率と稼働時間の低下影響を上回るため、前期比+1.9%、4億円の増収、
- 営業利益は、販管費の増加を見込み、前期比▲31.6%、6億円の減益としました。
- 販売管理費は、前期比で+21.5%増加していますが、これは、採用数大幅増加に伴う採用関連費用の増加を見込んでいるためです。
- 当期純利益は、前期比で▲39.8%、6億円の減益としました。
- メイテック、メイテックフィルダーズとも、このコロナ禍、非常に厳しい状況ではございますが、さらなる成長をはかっていくために、投資を行い、来年、再来年、中長期的に成長できるよう取り組んでいきます。

利益配分に関する基本方針

✓ 新中期計画の利益配分は、資本と資金の質と量の充実度を踏まえ、既定方針に従う

2018年11月改定
 2017年5月改定
 2011年5月改定
利益配分方針

1. 自己資本の“質と量”が充実していること
2. 資金残高が事業運営上の必要資金*を上回っていること
 (*連結売上高の月商3ヶ月分)

総還元性向：100%以内を原則

配当

業績連動型配当：連結当期純利益の50%以上

最低限の配当：連結株主資本配当率(DOE)5%

**自己株式の
 取得・
 保有・消却**

取得：総還元性向と配当性向の水準を勘案して適宜実施

保有：発行済総数の5%を上限

消却：上限超を当期末までに消却

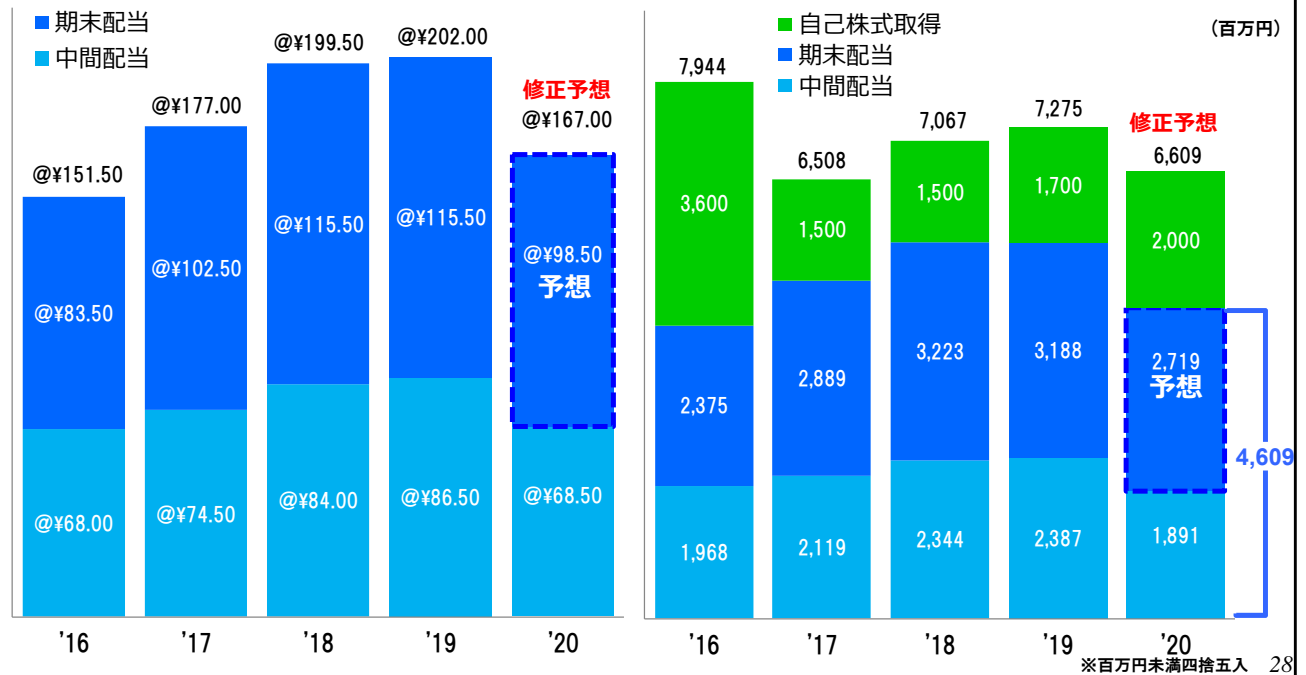
✓ 自己株式は、経営計画の目標達成等に向けて、今後の成長戦略の実行と成長に伴うリスクに対処していく機動的な財務政策を可能とするために保有

27

- 利益配分についてご説明いたします。
- 「利益配分に関する基本方針」に変更はありません。

利益配分の実績と予想

- ✓ 年間の総還元性向は、本年5月に公表した通り、前期比+20%の100%
- ✓ ただし、既に公表した内訳：配当：自己株式取得=6：4は、下記検討を経て、結果的に7：3へ変更
 ・まだ自己株式を取得していないが、投資家からの根強い要望が存在する事、当期純利益は前期比で約3割の減益予想である事、を踏まえつつ、業績に連動する減配予想の水準も考慮



- 最後に、利益配分の実績と予想です。
- 中間配当は、親会社株主に帰属する四半期純利益が期初公表予想を上回ったため、期初に公表した配当性向60%に即して中間配当額を見直し、期初予想比+3円の、1株あたり68円50銭としました。
- 年間の総還元性向は、今年5月に公表した通り、前期比+20%の100%とします。
 ただし、当年度は、まだ自己株式を取得していませんが、投資家から根強い要望にお応えすること、当期純利益は前期比で約3割の減益予想であることを踏まえつつ、業績に連動する減配予想の水準も考慮した結果、普通配当は年間総額約46億円で一株当たり167円の予想、自己株式取得は20億円の予想とします。既にリリースで公表させて頂いておりますが、自己株式の取得につきましては明日から実施したいと考えております。
- 私からの説明は以上です。
 今後も皆様のご期待に応え続けられるよう、努力して参ります。
 引き続き、ご理解、ご支援の程、宜しくお願い致します。
 ご清聴、ありがとうございました

3. ご参考資料

人と技術で次代を拓く

MEITEC

Engineering Firm at The Core

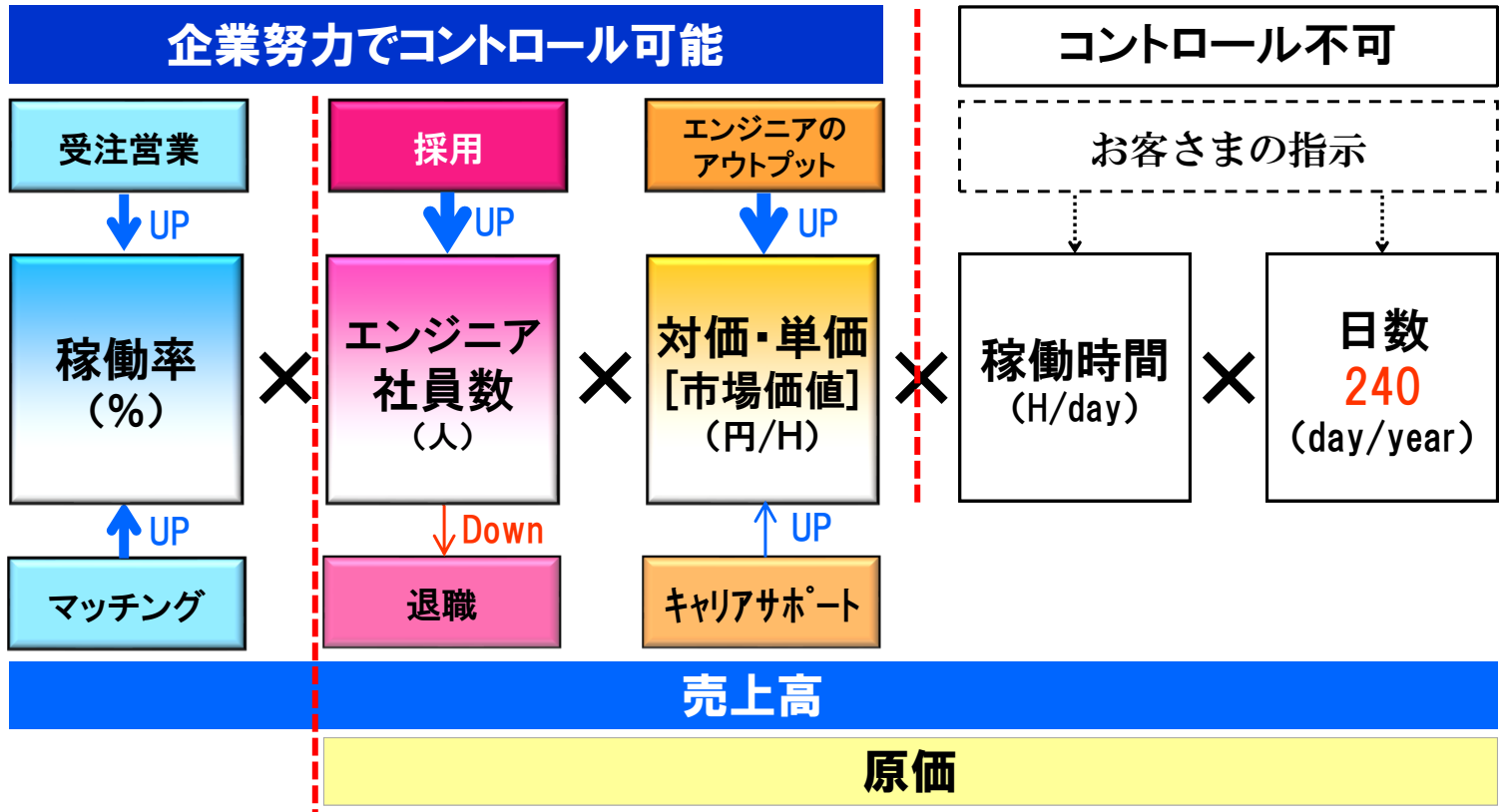
一社でも多くのお客さまに、
一人でも多くのエンジニアに、
メイテックグループを活用いただき、
感動や喜びを実感できる
「機会と場」の拡大を目指します。

代表取締役社長
メイテックグループCEO

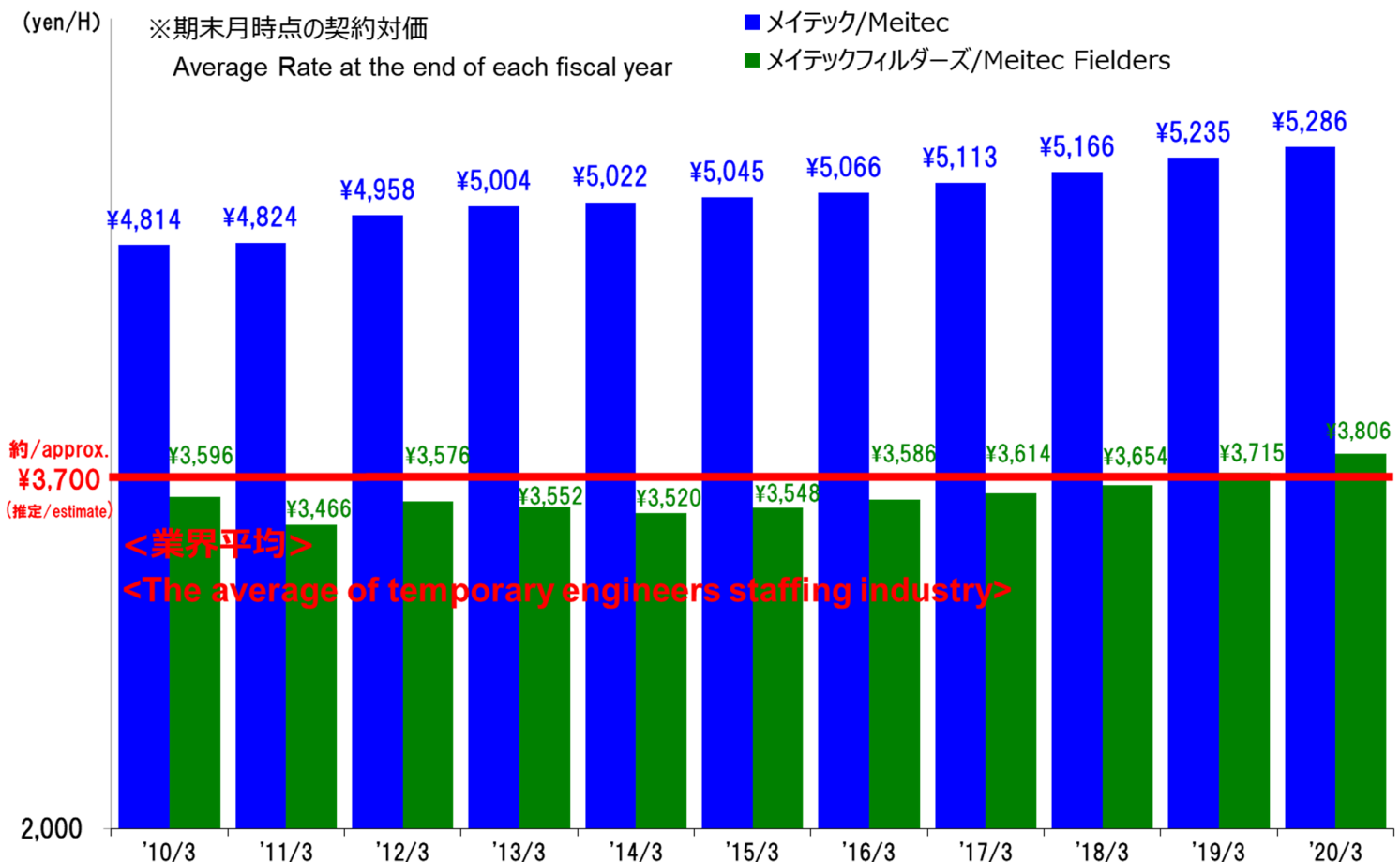
國分 秀世



✓ 「稼働率と対価」を維持・向上しながら、エンジニア社員数の増員が成長の鍵



対価・単価・(レート) = [市場価値]



2021年3月期 第2四半期業績 各社別の概況

(百万円未満切捨て)	エンジニアリングソリューション事業				エンジニア紹介事業
	メイテック	メイテック フィルダーズ	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト
売上高	34,846	10,272	1,428	80	665
前期比 増減額	▲2,130	▲166	+25	+26	▲201
前期比 増減率	▲5.8%	▲1.6%	+1.8%	+48.4%	▲23.3%
営業利益	3,956	664	105	△10	174
前期比 増減額	▲805	▲266	+20	▲1	▲62
前期比 増減率	▲16.9%	▲28.6%	+24.6%	—	▲26.3%
経常利益	4,899	663	112	△9	174
当期純利益	3,429	454	76	△10	119

33

2021年3月期 各社別の業績予想

(百万円未満切捨て)	エンジニアリングソリューション事業				エンジニア紹介事業
	メイテック	メイテック フィルダーズ	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト
売上高	71,600	21,800	2,890	170	1,350
前期比 増減額	▲3,697	+416	—	+42	▲289
前期比 増減率	▲4.9%	+1.9%	+0.0%	+33.7%	▲17.6%
営業利益	8,100	1,330	210	0	320
前期比 増減額	▲2,282	▲614	+23	+2	▲114
前期比 増減率	▲22.0%	▲31.6%	+12.8%	—	▲26.3%
経常利益	9,000	1,330	220	0	320
当期純利益	6,300	880	140	0	220

34

業種別売上高推移【メイテック】

(百万円)

メイテック 百万円未満切捨て	2017年 3月期2Q	2018年 3月期2Q	2019年 3月期2Q	2020年 3月期2Q	2021年3月期2Q			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車、輸送機器関連(航空機を除く)	9,221	10,091	10,542	11,060	9,789	28.1%	△ 1,270	△11.5%
航空機・ロケット関連	2,764	2,545	2,278	2,276	2,084	6.0%	△ 191	△8.4%
産業用機器、機械器具および装置関連	5,083	5,070	5,094	5,232	4,614	13.2%	△ 617	△11.8%
精密機器関連	2,553	2,831	3,123	3,400	3,689	10.6%	+288	+8.5%
情報通信機器関連	2,162	2,024	1,936	1,794	1,722	4.9%	△ 71	△4.0%
電気・電子機器、電気機械器具設計	4,045	4,229	4,080	3,896	3,467	10.0%	△ 428	△11.0%
半導体・集積回路関連	1,965	2,012	2,095	2,002	2,026	5.8%	+24	+1.2%
半導体製造装置関連	974	1,143	1,315	1,325	1,431	4.1%	+106	+8.0%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	2,400	2,603	2,587	2,719	2,789	8.0%	+69	+2.5%
プラント関連	1,238	1,284	1,259	1,374	1,299	3.7%	△ 75	△5.5%
建築関連	199	194	198	167	139	0.4%	△ 28	△17.0%
その他	1,464	1,513	1,604	1,725	1,791	5.1%	+66	+3.8%
合計	34,073	35,544	36,116	36,976	34,846	100.0%	△ 2,130	△5.8%

35

業種別売上高推移【メイテックフィルダース】

(百万円)

メイテックフィルダース 百万円未満切捨て	2017年 3月期2Q	2018年 3月期2Q	2019年 3月期2Q	2020年 3月期2Q	2021年3月期2Q			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車、輸送機器関連(航空機を除く)	2,682	2,861	3,101	3,418	3,015	29.4%	△ 402	△11.8%
航空機・ロケット関連	173	193	174	182	195	1.9%	+12	+7.0%
産業用機器、機械器具および装置関連	1,036	1,234	1,524	1,909	1,958	19.1%	+49	+2.6%
精密機器関連	836	1,014	1,141	1,327	1,363	13.3%	+35	+2.7%
情報通信機器関連	263	314	331	371	341	3.3%	△ 30	△8.2%
電気・電子機器、電気機械器具設計	874	978	1,069	1,085	1,053	10.3%	△ 31	△2.9%
半導体・集積回路関連	264	293	347	345	359	3.5%	+14	+4.2%
半導体製造装置関連	341	399	654	688	568	5.5%	△ 119	△17.4%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	164	219	246	337	480	4.7%	+143	+42.5%
プラント関連	263	298	289	312	419	4.1%	+107	+34.3%
建築関連	10	36	48	8	4	0.0%	△ 4	△49.1%
その他	307	318	384	453	512	5.0%	+58	+13.0%
合計	7,218	8,163	9,314	10,439	10,272	100.0%	△ 166	△1.6%

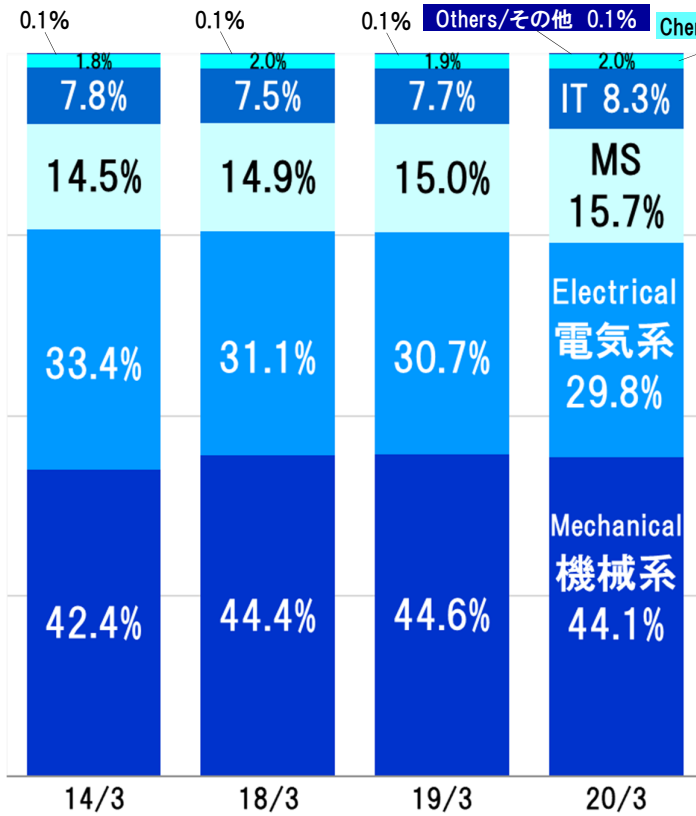
36

エンジニアの構成 メイテック

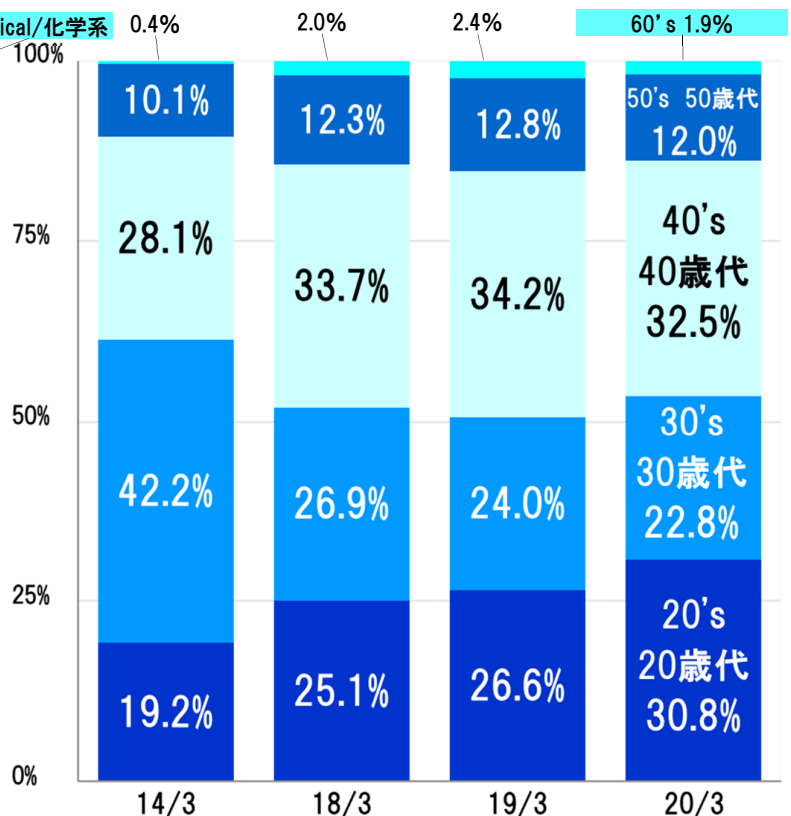
2020年3月期
決算説明資料再掲

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

技術分野/Technical field



年齢/According to age



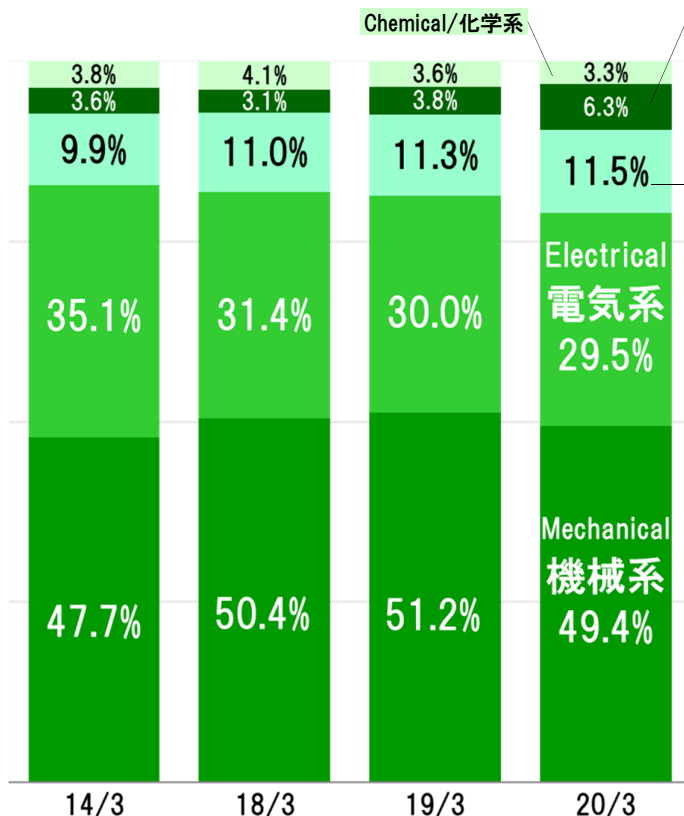
MS: Micro Computer System

エンジニアの構成 メイテックフィルダース

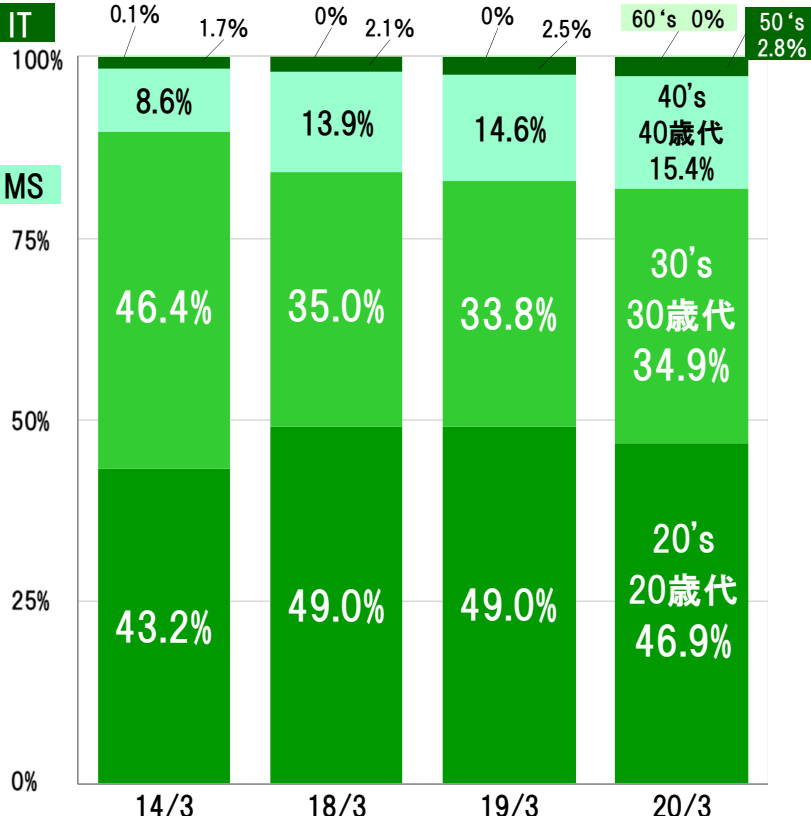
2020年3月期
決算説明資料再掲

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

技術分野/Technical field



年齢/According to age



MS: Micro Computer System

【連結】業績推移

(百万円)	2009-2Q	2010-2Q	2011-2Q	2012-2Q	2013-2Q	2014-2Q	2015-2Q	2016-2Q	2017-2Q	2018-2Q	2019-2Q	2020-2Q
売上高	26,203	29,357	31,937	34,130	35,754	39,300	42,143	44,111	45,867	47,621	49,577	47,091
原価	23,478	23,628	24,052	25,119	26,607	29,366	31,321	32,861	34,049	35,288	36,461	35,307
原価率	89.6%	80.5%	75.3%	73.6%	74.4%	74.7%	74.3%	74.5%	74.2%	74.1%	73.5%	75.0%
売上総利益	2,724	5,728	7,885	9,010	9,146	9,934	10,821	11,249	11,817	12,332	13,116	11,783
販売費及び一般管理費	5,973	5,065	5,556	6,119	6,239	5,941	6,077	6,178	6,375	6,505	7,113	6,905
販管費率	22.8%	17.3%	17.4%	17.9%	17.4%	15.1%	14.4%	14.0%	13.9%	13.7%	14.3%	14.7%
営業利益	▲3,248	662	2,328	2,891	2,907	3,992	4,744	5,071	5,442	5,827	6,003	4,878
営業利益率	▲12.4%	2.3%	7.3%	8.5%	8.1%	10.2%	11.3%	11.5%	11.9%	12.2%	12.1%	10.4%
営業外収益	2,456	1,468	46	74	33	24	14	11	9	7	22	31
営業外費用	58	43	24	20	9	3	35	7	5	5	4	1
経常利益	▲850	2,087	2,350	2,945	2,931	4,012	4,723	5,074	5,447	5,830	6,020	4,907
経常利益率	▲3.2%	7.1%	7.4%	8.6%	8.2%	10.2%	11.2%	11.5%	11.9%	12.2%	12.1%	10.4%
特別利益	26	297	—	47	—	7	1,084	2	—	11	—	—
特別損失	26	83	2	206	18	3,464	30	3	60	1	2	4
税金等調整前四半期純利益	▲850	2,302	2,347	2,786	2,913	555	5,777	5,073	5,386	5,840	6,018	4,903
税金費用など	364	686	1,051	1,094	1,207	361	1,979	1,607	1,860	1,954	2,047	1,764
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲1,214	1,615	1,295	1,692	1,706	194	3,798	3,466	3,526	3,885	3,970	3,138
純利益率	▲4.6%	5.5%	4.1%	5.0%	4.8%	0.5%	9.0%	7.9%	7.7%	8.2%	8.0%	6.7%

39

<メイテック>業績推移

(百万円)	2009-2Q	2010-2Q	2011-2Q	2012-2Q	2013-2Q	2014-2Q	2015-2Q	2016-2Q	2017-2Q	2018-2Q	2019-2Q	2020-2Q
売上高	20,097	22,698	25,256	27,125	28,150	30,682	33,131	34,073	35,544	36,116	36,976	34,846
原価	18,015	18,629	19,180	20,081	21,094	23,091	24,758	25,545	26,601	26,969	27,307	26,213
原価率	89.6%	82.1%	75.9%	74.0%	74.9%	75.3%	74.7%	75.0%	74.8%	74.7%	73.8%	75.2%
売上総利益	2,082	4,069	6,075	7,043	7,056	7,590	8,372	8,527	8,942	9,146	9,669	8,633
販売費及び一般管理費	4,013	3,829	4,131	4,583	4,664	4,325	4,444	4,426	4,512	4,502	4,907	4,676
販管費率	20.0%	16.9%	16.4%	16.9%	16.6%	14.1%	13.4%	13.0%	12.7%	12.5%	13.3%	13.4%
営業利益	▲1,931	239	1,944	2,460	2,392	3,265	3,927	4,100	4,430	4,644	4,762	3,956
営業利益率	▲9.6%	1.1%	7.7%	9.1%	8.5%	10.6%	11.9%	12.0%	12.5%	12.9%	12.9%	11.4%
営業外収益	2,070	1,350	337	291	403	435	497	585	751	749	902	943
営業外費用	28	16	19	11	4	3	30	6	2	4	3	1
経常利益	109	1,573	2,262	2,739	2,791	3,697	4,395	4,679	5,179	5,388	5,661	4,899
経常利益率	0.5%	6.9%	9.0%	10.1%	9.9%	12.0%	13.3%	13.7%	14.6%	14.9%	15.3%	14.1%
特別利益	1	1	—	—	—	8	1,084	15	30	11	—	—
特別損失	15	73	2	210	43	3,463	43	3	60	1	2	4
税引前四半期純利益	95	1,501	2,260	2,528	2,748	242	5,437	4,691	5,149	5,398	5,658	4,894
税金費用など	64	600	904	935	1,003	69	1,687	1,411	1,541	1,589	1,661	1,464
四半期純利益	31	900	1,356	1,593	1,745	172	3,749	3,279	3,608	3,808	3,997	3,429
純利益率	0.2%	4.0%	5.4%	5.9%	6.2%	0.6%	11.3%	9.6%	10.2%	10.5%	10.8%	9.8%

40

<メイテックフィルダース>業績推移

(百万円)	2009-2Q	2010-2Q	2011-2Q	2012-2Q	2013-2Q	2014-2Q	2015-2Q	2016-2Q	2017-2Q	2018-2Q	2019-2Q	2020-2Q
売上高	3,402	3,942	4,113	4,513	5,037	5,753	6,386	7,218	8,163	9,314	10,439	10,272
原価	3,372	3,138	3,134	3,436	3,879	4,453	4,965	5,637	6,357	7,245	8,095	8,007
原価率	99.1%	79.6%	76.2%	76.1%	77.0%	77.4%	77.7%	78.1%	77.9%	77.8%	77.5%	77.9%
売上総利益	30	804	978	1,076	1,157	1,300	1,421	1,580	1,806	2,069	2,344	2,265
販売費及び一般管理費	990	549	738	807	806	813	873	939	1,129	1,256	1,413	1,601
販管費率	29.1%	13.9%	17.9%	17.9%	16.0%	14.1%	13.7%	13.0%	13.8%	13.5%	13.5%	15.6%
営業利益	▲960	254	240	269	351	486	547	641	677	812	930	664
営業利益率	▲28.2%	6.4%	5.8%	6.0%	7.0%	8.5%	8.6%	8.9%	8.3%	8.7%	8.9%	6.5%
営業外収益	455	136	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—
営業外費用	1	—	—	—	—	—	—	1	2	—	—	1
経常利益	▲506	389	242	270	352	486	548	639	674	812	930	663
経常利益率	▲14.9%	9.9%	5.9%	6.0%	7.0%	8.5%	8.6%	8.9%	8.3%	8.7%	8.9%	6.5%
特別利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別損失	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
税引前四半期純利益	▲507	389	242	270	352	486	548	639	674	812	930	663
税金費用など	277	15	96	102	133	189	198	116	211	250	286	208
四半期純利益	▲785	373	145	167	218	297	349	523	462	561	644	454
純利益率	▲23.1%	9.5%	3.5%	3.7%	4.3%	5.2%	5.5%	7.3%	5.7%	6.0%	6.2%	4.4%

41

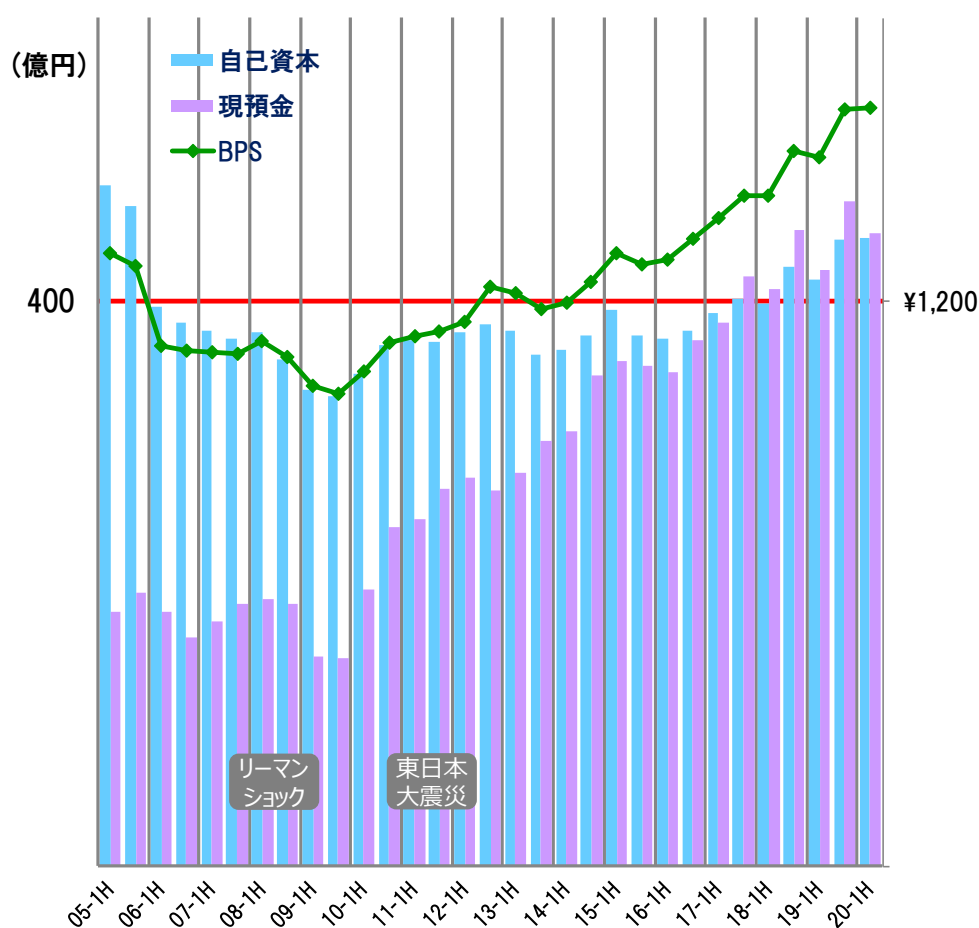
<メイテックネクスト>業績推移

(百万円)	2009-2Q	2010-2Q	2011-2Q	2012-2Q	2013-2Q	2014-2Q	2015-2Q	2016-2Q	2017-2Q	2018-2Q	2019-2Q	2020-2Q
売上高	173	215	283	368	447	536	639	758	818	894	867	665
原価												
原価率												
売上総利益	173	215	283	368	447	536	639	758	818	894	867	665
販売費及び一般管理費	180	162	203	246	278	355	435	475	539	602	629	490
販管費率	104.0%	75.1%	71.7%	67.0%	62.2%	66.3%	68.0%	62.6%	65.9%	67.4%	72.6%	73.7%
営業利益	▲6	53	80	121	169	180	204	283	279	291	237	174
営業利益率	▲4.0%	24.9%	28.3%	33.0%	37.8%	33.7%	32.0%	37.4%	34.1%	32.6%	27.4%	26.3%
営業外収益	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
営業外費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
経常利益	▲6	55	80	121	169	180	204	283	279	291	235	174
経常利益率	▲3.9%	25.5%	28.4%	33.0%	37.9%	33.7%	32.0%	37.4%	34.1%	32.6%	27.2%	26.3%
特別利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別損失	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
税引前四半期純利益	▲6	54	80	121	169	180	204	283	278	291	235	174
税金費用など	—	—	—	9	55	64	67	90	87	89	72	54
四半期純利益	▲7	54	80	112	114	116	136	193	191	202	163	119
純利益率	▲4.1%	25.1%	28.4%	30.5%	25.5%	21.6%	21.4%	25.5%	23.4%	22.6%	18.8%	18.0%

42

(百万円)	2009/9/30	2010/9/30	2011/9/30	2012/9/30	2013/9/30	2014/9/30	2015/9/30	2016/9/30	2017/9/30	2018/9/30	2019/9/30	2020/9/30
現金・預金	14,851	19,548	24,504	27,506	27,866	30,719	35,716	34,954	38,425	40,838	42,131	44,838
受取手形・売掛金	8,016	9,389	9,391	10,036	10,070	11,680	12,048	12,695	13,354	13,100	13,709	13,043
流動資産合計	27,391	32,210	37,128	40,935	42,090	46,427	52,071	52,568	55,645	55,348	57,148	59,437
有形固定資産合計	12,390	11,986	11,465	10,920	10,785	7,333	5,980	5,632	5,498	5,296	5,364	5,199
固定資産合計	19,823	18,600	17,494	16,215	15,799	12,393	12,271	11,183	11,743	14,168	14,408	14,525
資産合計	47,214	50,811	54,623	57,150	57,890	58,821	64,343	63,752	67,389	69,516	71,556	73,962
流動負債合計	5,762	7,488	8,409	9,760	9,642	11,351	12,850	12,923	14,119	14,929	14,468	13,533
固定負債合計	7,423	8,271	8,890	9,496	10,256	10,857	12,046	13,555	14,133	14,826	15,540	16,021
負債合計	13,185	15,760	17,299	19,257	19,898	22,209	24,897	26,478	28,252	29,755	30,009	29,555
株主資本	34,604	35,716	38,146	38,744	38,816	38,401	41,387	39,570	41,118	41,575	43,219	45,900
その他	▲575	▲666	▲822	▲851	▲824	▲1,789	▲1,941	▲2,296	▲1,981	▲1,813	▲1,672	▲1,492
純資産合計	34,028	35,050	37,324	37,893	37,991	36,612	39,445	37,273	39,136	39,761	41,547	44,407

自己資本・現預金 グループ連結



- 無期雇用エンジニア派遣事業では、経済危機下でも、エンジニアの雇用を守り抜く事が持続的成長に不可欠
→エンジニアは、安定雇用を前提として、自身のキャリアを磨く事に専念し続ける
- そのためには、資金残高にも配慮しつつ、財務の安全性につながる「自己資本の“質と量”の充実」を優先する

利益配分実績と予想

		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	実績 2019年度	予想 2020年度
(百万円未満・四捨五入)													
総還元性向(連結)		—	24.7%	92.9%	99.0%	101.2%	116.8%	100.0%	100.1%	80.0%	80.0%	80.0%	100.1%
配当性向(連結)		—	24.7%	68.5%	53.2%	56.1%	92.4%	53.5%	55.2%	61.8%	63.3%	61.5%	69.8%
純資産配当率(連結)		2.4%	2.6%	5.2%	8.4%	6.0%	9.2%	11.4%	11.6%	12.9%	13.6%	12.9%	
年間配当	1株当たり	@¥24.50	@¥27.50	@¥58.50	@¥99.00	@¥72.00	@¥111.00	@¥144.00	@¥151.50	@¥177.00	@¥199.50	@¥202.00	@¥167.00
	金額(百万円)	812	911	1,925	3,134	2,220	3,373	4,286	4,344	5,008	5,567	5,575	4,609
中間配当	1株当たり	@¥24.50		@¥29.00	@¥30.00	@¥31.50	@¥44.00	@¥63.00	@¥68.00	@¥74.50	@¥84.00	@¥86.50	@¥68.50
	金額(百万円)	812		961	981	983	1,344	1,908	1,968	2,119	2,344	2,387	1,891
期末配当	1株当たり		@¥27.50	@¥29.50	@¥69.00	@¥40.50	@¥67.00	@¥81.00	@¥83.50	@¥102.50	@¥115.50	@¥115.50	@¥98.50
	金額(百万円)		911	965	2,153	1,237	2,029	2,378	2,375	2,889	3,223	3,188	2,719
自己株式取得	株数(千株)			421	1,506	641	269	921	915	257	280	303	
	金額(百万円)			700	2,800	1,800	899	3,799	3,600	1,500	1,500	1,700	2,000
総利益配分額 (百万円)		812	911	2,625	5,934	4,020	4,273	8,086	7,944	6,508	7,067	7,275	6,609
株式消却	株数(千株)			400	1,700	500	300	900	1,300		700	300	
株価	期初4月1日	¥1,242	¥1,893	¥1,621	¥1,681	¥2,193	¥2,857	¥3,965	¥3,865	¥4,505	¥5,960	¥5,130	¥4,065
	期末3月31日	¥1,831	¥1,664	¥1,669	¥2,343	¥2,930	¥4,025	¥3,935	¥4,520	¥5,890	¥5,030	¥4,300	
1株当たり当期純利益		@¥▲27.30	@¥111.33	@¥85.45	@¥186.08	@¥128.30	@¥120.12	@¥269.24	@¥274.32	@¥286.64	@¥315.43	@¥328.36	@¥239.13
1株当たり純資産		@¥1,002.58	@¥1,112.69	@¥1,135.10	@¥1,229.62	@¥1,182.85	@¥1,238.78	@¥1,278.59	@¥1,330.57	@¥1,424.01	@¥1,518.42	@¥1,606.03	

45

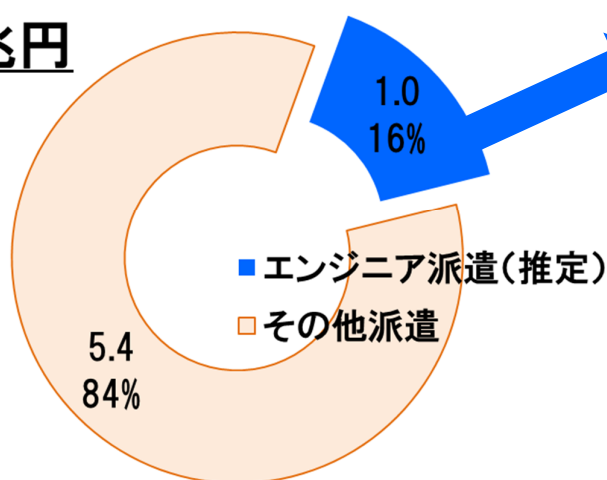
株主セグメント別保有状況

株主セグメント	2020年9月30日現在			
	株主数(名)	構成比	所有株式数(株)	構成比
銀行	8	0.2%	140,100	0.5%
信託銀行	18	0.4%	8,654,400	29.8%
生保・損保会社	33	0.7%	3,677,283	12.7%
証券金融・その他金融会社	6	0.1%	24,660	0.1%
証券会社	28	0.6%	303,966	1.1%
事業会社・その他法人	70	1.5%	159,145	0.6%
外国法人・外国人	250	5.2%	11,952,361	41.2%
個人その他	4,380	91.4%	4,088,085	14.1%
合計	4,793	100.0%	29,000,000	100.0%

46

2018年度の労働者派遣事業・売上高

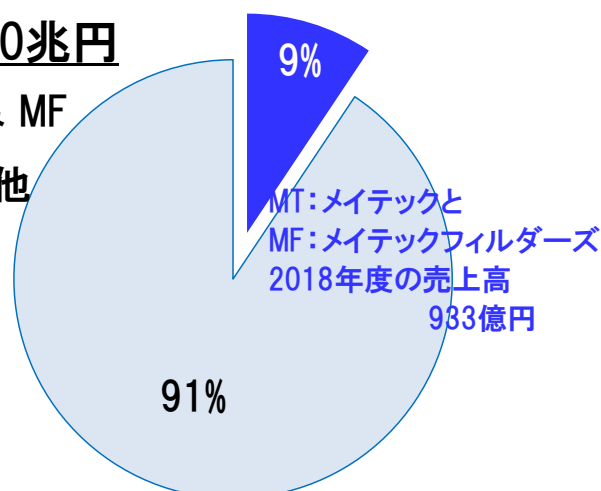
6.4兆円



エンジニア派遣市場(推定)

推定1.0兆円

- MT & MF
- その他



2020年3月

メイテック

¥5,286

メイテックフィルダーズ

¥3,806

エンジニア派遣
(推定)

約¥3,700

出所:厚生労働省「労働者派遣事業報告書の集計結果」、推定値は当社試算。

注:当社は推定値に関して何ら一切の責任を負いません。

47

コーポレート・ガバナンス

I. 会社の機関

1. 組織形態 監査役設置会社

2. 会社独自の取り組み

① コーポレートガバナンス委員会 委員長: 社外取締役、委員: 取締役全員

- ・取締役会の実効性に関する分析・評価
- ・ガバナンス等の基本事項ほかの協議

② 役員人事諮問委員会 委員長: 社外取締役、委員: CEOと社外取締役

プロセスの適正性の評価

- ・代表取締役CEOの選解任
- ・社内業務執行取締役のパフォーマンス評価
- ・取締役・監査役候補者の指名
- ・社内業務執行取締役の報酬

CEO候補者選考協議会

II. 取締役・監査役(2020年9月30日現在)

	取締役	監査役	合計	
人数	9	4	13	
うち独立社外	4	4	8	構成の方針
比率	44%	100%	62%	> 出席者の1/3以上

III. 役員報酬

固定報酬

	改正: 2019年3月26日～	
代表取締役社長 グループCEO、CEO兼COO	年額 28,800千円	(月額 2,400千円)
取締役副社長	年額 24,000千円	(月額 2,000千円)
取締役	年額 19,200千円	(月額 1,600千円)
社外取締役	年額 9,000千円	(月額 750千円)
常勤監査役	年額 24,000千円	(月額 2,000千円)
非常勤監査役	年額 7,800千円	(月額 650千円)

取締役(のみ)に対する業績連動報酬など

	改正: 2016年4月1日～	
連結当期純利益(業績連動 役員報酬を含まない)金額の	2.5%	
	上限: 年額250百万円	
うち社外取締役	支給対象外	
うち税引後の20%相当額を	自社株式取得に充当 (役員持株会方式)	

48

Engineering Firm at The Core

私たちは「人と技術」でものづくりの核心を担う、
エンジニア集団です

エンジニアに豊かな「エンジニア人生」を提供し、
お客さまにとって欠かせない真の「ベストパートナー」を実現していく存在でありたい。

今まで「人と技術で次代を拓いてきた」私たちだからこそ、今、
そしてこれからもエンジニア採用市場・労働市場と設計・開発業務市場の
双方において、“核心”を担える集団であり続けます。

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

49

Engineering Firm

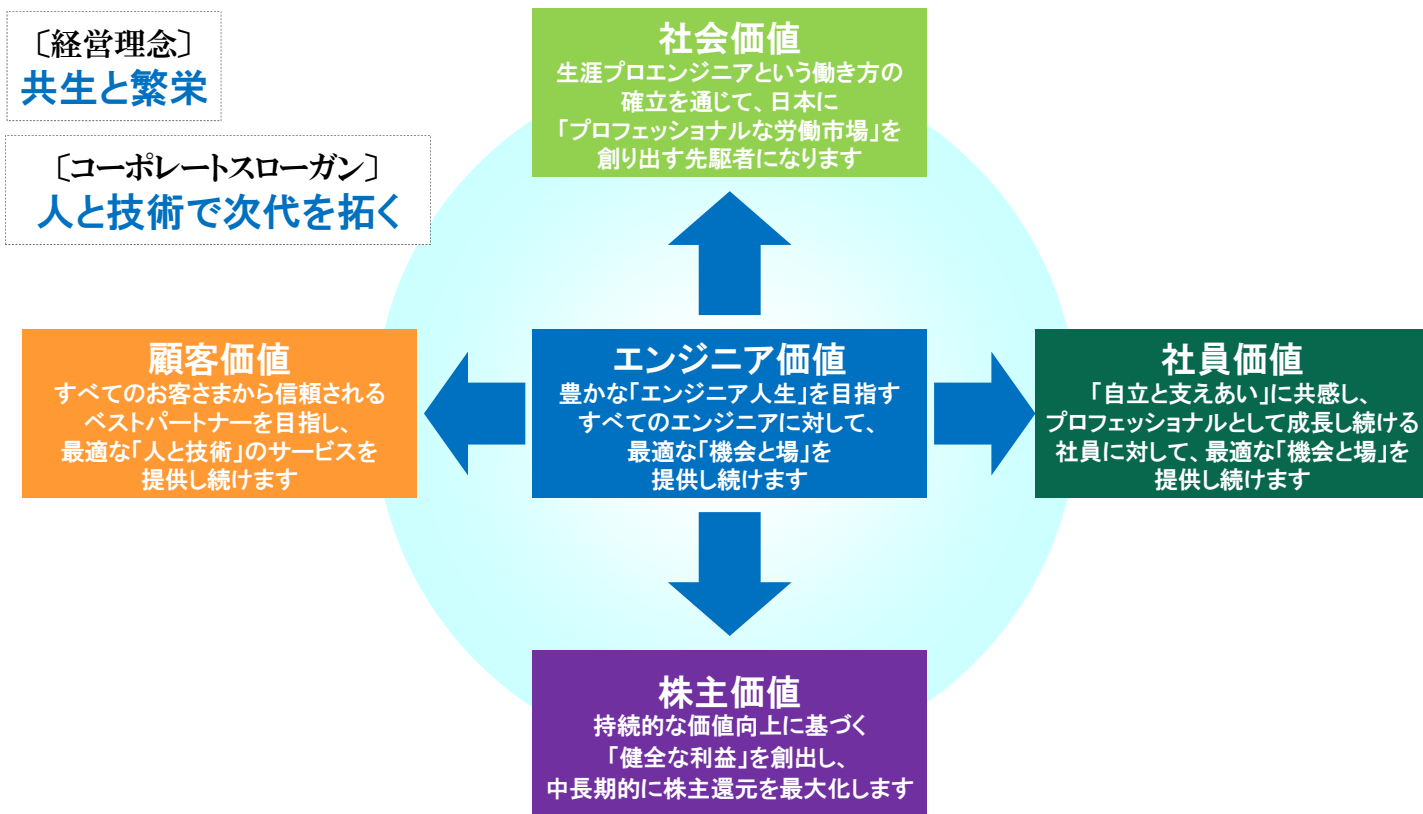
メイテックグループの社員一人ひとりが
「自立と支え合い」の精神でお互いを高め合い、
成長し続けるエンジニアのプロフェッショナル集団であること

The Core

製造業の技術革新において、「大事な、欠かせない」価値を
創り出す存在であること

世の中のエンジニアが職業を軸に働き続ける上で、
「大事な、欠かせない」働き方を提供できる存在であること

私たちメイテックグループは、全社員がつながりあい、
エンジニア価値を起点として、5つの価値を持続的に向上させます



社会課題の解決に向けて取り組む目標

2020年3月期
決算説明資料再掲

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

Engineering Firm at The Core

私たちは「人と技術」でものづくりの核心を担う、
エンジニア集団です

E 環境	S 社会	G ガバナンス
<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術革新を推進し、環境・エネルギー等の課題解決に貢献 技術革新とイノベーションを推進し産業と経済成長に貢献 	<p>8 働きがいも経済成長も</p> <ul style="list-style-type: none"> プロフェッショナルな労働市場の創出を通じて、持続可能な経済成長に貢献 	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> <p>高度な技術教育と生涯学習の促進</p>
		<p>5 ジェンダー平等を實現しよう</p> <p>国籍・性別・年齢に関わらず、公平な「機会と場」の提供</p>
		<p>16 平和と公正をすべての人に</p> <p>グループCG方針 社員行動規範の遵守徹底</p>

グループ一体で高付加価値を追求して事業モデルを改革

基本方針	売上拡大			利益率向上
	収益増強			
重点施策	✓ 最上級Primeのエンジニアリングソリューションを提供 経営トップ直轄で最上級Primeの ・エンジニア集団を創る ・技術営業チームを築く	✓ 設計開発のデジタル化を大きく増やす ・量的拡大とデジタル化・成長領域への移動を加速 ・制度や基準を迅速果断に革新	✓ 地域(エリア・ブロック)へ権限を委譲	✓ オペレーションの標準化を進め、効率を向上 ・業務要件を再定義 ・デジタル化の促進

53

2022年度 収益目標

2022年度 収益目標	グループ連結	エンジニアリングソリューション事業		エンジニア紹介事業
		メイテック	メイテックフィルダーズ	
売上高	1,350億円	900億円	400億円	25億円
営業利益	180億円	135億円	36億円	8億円
営業利益率	13%	15%	9%	32%
当期純利益	120億円			
ROE	25%以上			

中期経営計画の記述に関する注意事項
 本資料中の定量目標などは、あくまで、経営チームの強い意志に基づく中長期的な戦略を示すものに過ぎず、業績予想ではありません。

54

本 社	東京都台東区
本 店	愛知県名古屋市西区
証券コード	9744(東証1部)
設 立	1974年(昭和49年)7月17日
取 引 先	株式1部・2部上場企業および優良中堅企業約1,200社
営業拠点	東京・名古屋・大阪など国内主要都市41拠点
グループ会社	<p>【エンジニアリングソリューション事業】</p> <ul style="list-style-type: none">■ 株式会社メイテックフィルダーズ■ 株式会社メイテックキャスト■ 株式会社メイテックEX■ 株式会社メイテックビジネスサービス <p>【エンジニア紹介事業】</p> <ul style="list-style-type: none">■ 株式会社メイテックネクスト

人と技術で次代を拓く

MEITEC

Engineering Firm at The Core